コンピュータミシン **取扱説明書** EMU16シリーズ

brother

なう前の準備 ぬう前に必要な準備を説明します。

2 ぬい方の基本

基本のぬい方と上手にぬうコツなど を説明します。



いろいろなぬい方とその使い方を 説明します。

別売りの 4 刺しゅう 刺しゅう機が 必要です 刺しゅうの手順を説明します。

5 付録 ミシンのお手入れと困ったときの対 処方法などを紹介します。

● ご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。
 ● 取扱説明書はなくさないように大切に保管し、いつでも手にとって見られるようにしてください。



安全にお使いいただくために

取扱説明書および本製品で使用されている表示や絵文字は、本製品を安全に正しくお使いいただき、 お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。 その表示や意味は次のとおりです。



取扱説明書で使用されている絵文字の意味は次のとおりです。



本製品を安全にお使いいただくために、次のことがらを守ってください。



1 注	意	
	●長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となります。	
	● 直射日光の当たるところや、ストーブ、アイロンのそばなど温度の高いところでは使用しないでください。ミシンの使用温度は0~40℃です。ミシン内部の温度が上がったり、ミシン本体や電源コードの被膜が溶けて火災・感電の原因となります。	
	● スプレー製品などを使用する部屋では使用しないでくだ さい。 スプレーへの引火によるやけどや火災の原因とな ります。	
\bigotimes_{\bigwedge}	● ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に は置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落 下などしてケガをする原因となります。	
	● ミシン本体の換気口をふさがないでください。換気口は、 必ず壁から30cm以上離して使用してください。また、 換気ロやフットコントローラーに糸くずやほこりがたま らないようにしてください。火災の原因となります。	
	 ミシン本体の上に花びんや水の入った容器を置くなどして、ミシン本体に水をこぼさないでください。万一、内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または「お客様相談室(ミシン119番)」フリーダイヤル0120-340-233にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 	
	換気口や内部に異物を入れたり、ドライバーなどを差し込まないでください。高圧部に触れて感電のおそれがあります。万一、異物が入った場合は、使用をやめてお近くの販売店または「お客様相談室(ミシン119番)」フリーダイヤル0120-340-233にご連絡ください。	

	注意	
0	● ミシン本体の重さは約9kgあります。ミシン本体を持ち 運びする際は急激、または不用意な動作をしないでくだ さい。腰や膝を痛める原因となります。	
0	● ミシン本体は、必ずハンドルを持って持ち運びをしてく ださい。他の部分を持つとこわれたり、すべって落とし たりして、ケガの原因となります。	
0	 ● ミシン本体には取扱説明書に記載されている正規の部品 を使用してください。他の部品を使用するとケガ・故障の原因となります。 	
	● お客様ご自身での分解、修理および改造は行わないでください。火災・感電・ケガの原因となります。指定以外の内部の点検・調整・掃除・修理は、お近くの販売店または「お客様相談室(ミシン119番)」フリーダイヤル0120-340-233にご依頼ください。	
	 ● 取扱説明書に記載されている整備は、必ず電源フラグを コンセントから抜いて行ってください。ケガ・感電の原 因となります。 	
	 取扱説明書に記載されている整備は、必ず電源フラグを コンセントから抜いて行ってください。ケガ・感電の原 因となります。 ミシン操作中は、針の動きに十分注意してください。ま た、針、プーリーなど、動いているすべての部品に手を 近づけないでください。ケガの原因となります。 	
	 取扱説明書に記載されている整備は、必ず電源フラグを コンセントから抜いて行ってください。ケガ・感電の原 因となります。 ミシン操作中は、針の動きに十分注意してください。ま た、針、プーリーなど、動いているすべての部品に手を 近づけないでください。ケガの原因となります。 縫製中、布地を無理に引っ張ったり、押したりしないで ください。ケガ・針折れの原因となります。 	
	 取扱説明書に記載されている整備は、必ず電源ブラグを コンセントから抜いて行ってください。ケガ・感電の原 因となります。 ミシン操作中は、針の動きに十分注意してください。ま た、針、プーリーなど、動いているすべての部品に手を 近づけないでください。ケガの原因となります。 縫製中、布地を無理に引っ張ったり、押したりしないで ください。ケガ・針折れの原因となります。 針の下などに指を入れないでください。ケガをするおそ れがあります。 	

▲ 注	意	
\bigcirc	● 曲がった針は絶対に使用しないでください。 針折れの原 因となります。	En Cost
	 ●万一、ミシン本体を落としたり、破損したり、故障したりした場合は、ただちに使用をやめてお近くの販売店または「お客様相談室(ミシン119番)」フリーダイヤル0120-340-233にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 	
	●万一、煙が出ている、異臭がする、異常音がするなどの 状態のときはすぐに電源プラグをコンセントから抜いて、 お近くの販売店または「お客様相談室(ミシン119番)」 フリーダイヤル0120-340-233にご連絡ください。そ のまま使用すると火災・感電の原因となります。お客様 による修理は危険ですから絶対に行わないでください。	
0	● ミシン本体が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、お子様の手の届かないところに保管するか廃棄してください。かぶって遊ぶと窒息のおそれがあります。	
\bigcirc	●お子様の玩具として使用しないでください。お子様が使用するときや、お子様の近くで使用するときは、お子様がケガをしないよう十分注意してください。	
\bigcirc	● 刺しゅう機を取り付けたままミシンを移動させないでく ださい。刺しゅう機が落下してケガをするおそれがあり ます。	
があり		

- このミシンは日本国内向け、家庭用です。外国では使用できません。 This sewing machine can not be used in a foreign country as designed for Japan. 職業用として使用する場合の保証はいたしかねますのでご了承ください。
- 仕様および外観は、品質改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 取扱説明書の内容を許可なく無断で複製することは禁じられておりますのでご了承ください。
- 取扱説明書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 取扱説明書の内容について、万一不審な点や誤りなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

もくじ

	安全にお使いいただくために	
	はじめに	
	製品の特長	
	付属品を確認してください	
	付属品	
	別売オプション	
	各部の名前とはたらき	
	前面	
	針・押え部分	
	右側面 · 背面	
	操作スイッチ	
	操作パネル	
1	ぬう前の進備	23
•		20
	電源を入れましょう	24
	電源に関する注意	
	電源を入れる	
	電源を切る	
	液晶画面の操作	
	液晶画面の見方	
	ミシンの設定を確認・変更する	
	ミシンの使い方を確認する	
	糸をセットしましょう	
	下糸を巻く	
	下糸をセットする	
	上糸を通す	
	と平町を使つ	
		44 A E
	町の俚類と使い力け	
	町 2 火 決 y る	40
	押えを父探9る	
	押えを交換する	
	同ものや大きなものをぬう	
	フリーアームにする	
	エクストファーノルを使う	
	シュトノーノルで伏 J	

2	ぬい方の基本	
	ぬってみましょう	
	ソーイングの手順	
	布地をセットする	
	ミシンをスタートさせる	
	返しぬい/止めぬいをする	60
	糸を切る	
	ぬい目を調節する	64
	模様の幅を調節する	
	ぬい目の長さを調節する	65
	糸調子を調節する	65
	便利な機能	
	自動で返しぬい/止めぬいをする	
	自動で糸を切る	67
	模様を反転させる	68
	模様の設定を記憶させる	
	上手にぬうコツ	
	試しぬいをする	70
	ぬう方向を変える	
	カーブをぬう	70
	押え圧を調節する	71
	厚い布地をぬう	
	薄い布地をぬつ	
	伸∪る巾地をぬつ	
	ヒーールヤ皮をぬう	
	ぬいしろの幅をてろえる	
З	いろいろなぬい方	75
	ぬい方を選びましょう	
	模様の種類	
	模様を選ぶ	77
	ぬいしろを始末する	
	たち目かがり押え <g>を使ったたち目かがり</g>	
	ジグザグ押え <j> を使ったたち目かがり</j>	
	サイドカッター押え <s> を使ったたち目かがり</s>	
	地ぬいをする	
	しつけぬい	
	地ぬい	
	すそ上げをする	
	ボタン穴かがりをする/ボタンを付ける	
	ボタン穴かがりをする	
	ボタンを付ける	

ファスナーを付ける	
つき合わせ	
片返し	
ファスナーを付ける/パイピングする	
つき合わせ	
パイピング	
伸びる布地やゴムテープをぬう	
	103
「「私」のの「	
アップリケノパッチワークノキルトをめう	105
	105
パッチワーク (クレイジーキルト)	100
アーシング	107
キルティング	
フリーモーションキルト	
振幅コントロールを使ったサテンぬい	
丈夫にしたいところをぬう	
	113
 かんどめ	
つくろいぬい (ダーニング)	
けとめ穴を作る	118
はこの八で11句	119
はとめべき」Fる	
はとめ八を1Fる	
はこの八を1Fる 横送り(直線・ジグザグ) 飾りぬいをする ファゴティング	
はこの八を1Fる 横送り(直線・ジグザグ)	
はこの八を1Fる 横送り(直線・ジグザグ) 飾りぬいをする ファゴティング	
はこの八を1Fる 横送り(直線・ジグザグ) 節りぬいをする	
はこの八を1Fる 横送り(直線・ジグザグ)	
はこの八を1Fる 横送り(直線・ジグザグ) 飾りぬいをする ファゴティング	
はこの八を1Fる 横送り(直線・ジグザグ)	
はこの八を1Fる 横送り(直線・ジグザグ) 節りぬいをする ファゴティング	
はこの八を1Fる 横送り(直線・ジグザグ)	
はこの八を1Fる 横送り(直線・ジグザグ)	
はこの八を1Fる 横送り(直線・ジグザグ) 飾りぬいをする ファゴティング	
はこのハモートる 横送り(直線・ジグザグ)	
はこめ/(そ)(そ) 横送り(直線・ジグザグ) 飾りぬいをする	
はこめ/(そ)(そ) 横送り(直線・ジグザグ) 飾りぬいをする ファゴティング	
はこのハゼロもの 横送り(直線・ジグザグ)	
はこのハゼドな 横送り(直線・ジグザグ)	119 121 122 123 123 123 123 124 125 126 129 129 130 131 132 132 133 134 134
はこめ/(と)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)(2)	119 121 122 123 123 123 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 132 133 134 136

オリジナル模様を作る(マイイラスト機能)	
イラストを描く	
イラストを入力する	
作品例	
刺しゅう	
きれいに刺しゅうをするには	
用意するもの	
刺しゅうの手順	
刺しゅう押え <q> を取り付ける</q>	
刺しゅう押え <q>を取り付ける</q>	
刺しゅう押え <q> を取り外す</q>	
刺しゅう機を取り付ける	152
刺しゅう機を取り付ける	152
刺しゅう機を取り外す	
布地を用意する	
市 二 二 1110 0 1110 0 1110 1110 1110 1110	
布地を刺しゅう枠に張る	
刺しゅう枠を取り付ける	
刺しゅう枠を取り付ける	
刺しゅう枠を取り外す	
刺しゅう模様を選びましょう	
刺しゅう模様の種類	
液晶画面の操作	
文字模様を選ぶ	
ブラザーワンポイント模様/ワンポイント模様	
枠模様を選ぶ	
刺しゅうカードを使う	
刺しゅうをしてみましょう	
ワンポイント模様を刺しゅうする	
アップリケをする	
こんなとき	
レイアウトを調整する	
糸調子を調節する	
刺しゆつし直したいとき	
巫平じホかゆくゆつたこさ 刺しゅうを中断するとき	// ا ۱// حر ا
リングナロックにで、*********************************	
検尿の記憶機能を 使う	
俣怺を記憶させる 増送を応び出す	
(実体でけし山9	

5 付録	
お手入れ	
困ったとき	
アップグレードの方法 本体仕様	
さくいん	

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。 お使いになる前に「安全にお使いいただくために」(→P.1)をよくお読みいただき、この取扱説明書 をご覧になり各機能の正しい使い方を十分にご理解の上、末永くご愛用ください。 また、取扱説明書は読み終わったあともいつでもご覧になれるところに保管してください。

製品の特長

実用模様・飾り模様・文字をぬうことができます。また、別売りの刺しゅう機をご購入すると、ワンポ イント模様・枠模様・文字を刺しゅうすることもできます。



付属品を確認してください

箱を開けたら、お買い上げの製品に合わせて、まず次の付属品が揃っているか確認してください。 不足しているときや破損しているときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

付属品

ハードケース

ミシンを使用しないときは、ケースをかぶせて収納 してください。



フットコントローラー ミシンを足で操作するときに使用します。



糸こま押え

上糸をセットするときに使用します。糸こまの大き さによって大/中/小を使い分けます。 購入時、糸こま押え(中)はミシンの糸たて棒にセッ トされています。



ドライバー

ミシン針を交換するときなどに使用します。



針板ドライバー 針板カバーを開閉するときに使用します。



はとめ穴パンチ はとめ穴をあけるときに使用します。



ミシンブラシ かまなどの細かい部分のほこりを取り除くときに 使用します。



糸こまネット 張りが強い糸をセットするときに使用します。



リッパー ぬい目をほどいたり、ボタン穴を切り開くときに 使用します。



はさみ 糸などを切ります。



押え

ぬい方に合った押えが用意されています。 詳細は、「押えを交換する」(→P.48) で説明します。

ボタン穴かがり押え <A>



たち目かがり押え <G>



片押え <l>



ジグザグ押え <J>

押え固定ピンが付いています。 ※購入時は、ミシン本体の押えホルダーに取り付けられて います。



ボタン付け押え <M>



模様ぬい押え <N>



まつりぬい押え <R>



ステッチガイド押え <P>



調節付き片押え



スムースフット(テフロン押え)



アップリケ押え



ピーシング押え

キルター



ウォーキングフットや押えホルダーのキルター用の 穴に差し込んで使用します。キルティングをすると きに、ぬい目を等間隔にそろえてぬうことができま す。



サイドカッター押え 布端を切りながら、たち目かがりなどをするときに 使用します。



ウォーキングフット ビニールや皮など、すべりにくい布地をぬうときに 使用します。



キルト押え フリーモーションキルトをするときに使用します。



ボビン

下糸を巻いて使用します。本製品純正のボビンが 4個付属されています。そのうちの1個は、購入 時にかまにセットされています。



ミシン針 (HA × 1)

4種類(計6本)の針が付属されています。糸の太 さや布地によって使い分けます。





2本針

2色の糸を同時に使用して、並行に模様をぬうとき に使用します。



ぬい糸

実用ぬい用のシャッペスパン #60 白です。 ※刺しゅうには使用できません。



布地ブロード

薄地をぬうときの試しぬいに使用します。



サンフェロン

フェルトに接着芯を貼ったものです。刺しゅうの試 しぬいに使用します。



マイイラストシート

マイイラスト機能でオリジナル模様を作るときに 使用します。



ワイドテーブル

大きな作品をぬうときに、作業スペースを広げるため に使用します。



ニーリフター

ひざで押えを上げ下げするときに使用します。ワイ ドテーブルの裏面に取り付けて収納します。 ※ 購入時は、ワイドテーブルの裏面に取り付けられ ています。



補助糸たて棒 2本針でぬうときに使用します。



付属品トレイ

補助テーブル内にセットし、押え・リッパー・ ボビンを収納します。



付属品バック 付属品を収納します。



取扱説明書 本書です。大切に保管してください。



操作早見表 下糸・上糸のセットと刺しゅうの手順、模様のサン プルが確認できます。



取扱説明 DVD

ミシンの基本的な使い方をDVDで紹介しています。



保証書

ミシンを修理するときなどに必要です。大切に保管 してください。



別売オプション

オプション品として次の製品を用意しています。お買い上げの販売店、または「お客様相談室(ミシン119番)」 (フリーダイヤル0120-340-233)にお問い合わせください。

エクストラテーブル

大きなものをぬうときに、作業スペースを広げるために使用します。(モデル: EXT1)



ガイド付まつりぬい押え

ガイドを布端に合わせて調節し、一定の幅のぬいしろ でぬうことができます(モデル:F017N)



ウィングニードル

針穴を大きく開けてレース風の飾り模様をぬうとき に使用します。(モデル:WNOO1)



刺しゅう糸



ウルトラポス 39 色セット (モデル:ETS39) ウルトラポス 23 色セット (モデル:ETS23) ウルトラポス 22 色セット (モデル:ETS22) カントリー糸 40 色セット (モデル:CTS40) カントリー糸 21 色セット (モデル:CTS21) 刺しゅう専用下糸 500m 巻き (モデル:EBT01) 刺しゅう専用下糸 1300m 巻き (モデル:EBT02)

刺しゅう用接着芯

刺しゅうする布地の裏にアイロンで貼ります。 (モデル:BM3)



刺しゅう用水溶性シート

薄手の布地やタオルなどの起毛した布地に刺しゅう をするときに使用します。洗濯するとシートが溶け ます。(モデル:BM4)



刺しゅう枠・刺しゅうシート [LL]

縦30×横13cm までの範囲で刺しゅうができま す。組み合わせ模様や大きな模様を刺しゅうすると きに使用します。(モデル: EF85)



刺しゅう枠・刺しゅうシート [S] 小さい布地を張るときに使用します。縦2×横6cm までの刺しゅうができます。(モデル:EF82)



刺しゅうカード

刺しゅう模様が内蔵されているカードです。ミシン 本体の刺しゅうカード差し込み口に差し込んで使用 します。テーマ別にいろいろなカードがあります。 ※外国で販売されている刺しゅうカードは使用でき ません。



別売刺しゅう機セット

次の部品が同梱されています。 (モデル:ES150)

刺しゅう機







刺しゅう押え <Q>



刺しゅう枠・刺しゅうシート [L]



刺しゅう枠・刺しゅうシート [M]



取扱説明書



各部の名前とはたらき

ここでは、ミシンの各部の名前とはたらきを説明します。ミシンを使用する前に、よく読んで名前を覚えておきましょう。

前面



① 糸案内板

上糸を通すときに糸をかけます。

- ② 糸案内カバー 上糸を通すときに糸をかけます。
- ③ 糸たて棒
 糸こまを差し込みます。
- ④ 下糸巻き案内
 下糸を巻くときに糸をかけます。
- ⑤ **上ふた** 上糸を通すときや下糸を巻くときに開けます。
- ⑥ 下糸巻き装置

下糸をボビンに巻くときに使用します。

⑦液晶画面

選択した模様の設定値やメッセージが表示されます。

- ⑧操作パネル 模様を選択したり、ミシンの使い方を確認したりし ます。(→P.21)
- ③ ニーリフター差し込み口
 ニーリフターを差し込みます。

⑩ 刺しゅう機差し込み口

刺しゅう機のコネクターを差し込みます。 ※刺しゅう機はオプション品です。

⑪ 押えレバー

押えを上げ下げします。

12 操作スイッチとスピードコントロールレバー

ミシンをスタートさせるときや針を上げ下げすると きなど、ミシンのさまざまな操作に使用します。 (→P.20)

⑬ 補助テーブル

中に押えやボビンなどを収納します。そで口などの 筒ものをぬうときには取り外します。

14 糸切り

ぬい終わったときに、糸を引っかけて切ります。

- (5) **糸通しレバー** 針穴に糸を通すときに使用します。
- (1) てんびん確認窓 てんびんの位置を確認します。

針・押え部分



- ボタン穴かがりレバー
 ボタン穴かがりやかんどめをするときに使用します。
- ② 糸案内皿 針穴に糸を通すときに糸をかけます。
- ③ 針棒糸かけ
 - 上糸をかけます。
- ④針板

まっすぐにぬうための目盛りが付いています。

⑤ 針板カバー

かまの掃除をするときに取り外します。

⑥ 針板ふた

下糸をセットするときに開けます。

⑦ 送り歯

ぬう方向に布地を送ります。

⑧ 押え

布地を押さえます。付属の押えの中からぬい方に 合った押えを使用します。 ※付属の押えは、16種類です。

⑨ 押えホルダー

押えを取り付けます。

右側面・背面



①ハンドル

ミシンの持ち運びに使用します。

② プーリー

ぬい目を1針ずつ送ったり、針を上げ下げするとき に手前に回します。

- ③ **刺しゅうカード差し込みロ** 別売りの刺しゅうカードを差し込みます。
- ④ USB ポートコネクター USB ケーブルを差し込み、パソコンに接続します。

※ USB ケーブルは、オプション品です。

⑤ 換気口

モーターの換気用の穴です。ミシンを設置するときは、ここをふさがないようにしてください。

- ⑥電源スイッチ 電源を入れるときと切るときに押します。
- フットコントローラージャック
 フットコントローラーのプラグを差し込みます。
- ⑧ 電源コード
 家庭用電源コンセント(AC100V)に接続します。
- ⑨ ドロップレバー送り歯を下げるときに使用します。
- ⑩ 押え圧ダイヤル押え圧を調節します。

操作スイッチ

操作スイッチで、ミシンの基本的な操作が簡単に行えます。



① スタート/ストップスイッチ 🛞

- ミシンをスタートさせるときとストップさせるとき に押します。ぬい始めとスイッチを押している間は ゆっくりとぬいます。購入時は、針が下がった(布 地に刺さった)状態でストップするように設定され ています。詳細は、「ミシンをスタートさせる」 (→P.58)で説明します。
- スイッチはミシンの状態によって色が変わります。
- 緑:スタートできる状態のとき/縫製中
- 赤:スタートできない状態のとき
- 橙:下糸を巻いているとき/下糸巻き軸が右側に 入っているとき

②返しぬいスイッチ 🛈

ぬい始めやぬい終わりの、返しぬいまたは止めぬい をするときに押します。返しぬいの場合は、スイッ チを押している間逆方向にぬいます。止めぬいの場 合は、スイッチを押したままにすると、同じ場所で 3~5針重ねてぬって止まります。詳細は、「返しぬ い/止めぬいをする」(→P.60)で説明します。

③針上下スイッチ (土)

針を上げ下げするときに押します。ぬい方向を変え るときや細かいところをぬうときに使用します。ま た、繰り返し押すと、1針ずつぬうことができます。

④糸切りスイッチ 🕓

ぬい終わりに、上糸と下糸を自動的に切るときに押 します。詳細は、「糸を切る」(→P.62)で説明し ます。

⑤ スピードコントロールレバー

ぬう速度を調節するときに使用します。左に動かす と遅く、右に動かすと速くなります。

▲ 注意

● 糸を切った後に糸切りスイッ チを押さないでください。針 が折れたり糸がからんだりす るおそれがあります。また、故 障の原因になります。

操作パネル

前面の操作パネルで、模様を選択したり設定したりすることができます。



①液晶画面

選択した模様の設定値やメッセージが表示されます。 液晶画面に表示されるキーを指で押して操作します。 詳細は、「液晶画面の操作」(→P.26)で説明します。

②戻るキー 5

液晶画面の表示を1つ前に戻すときに押します。

③前ページキー く

液晶画面に表示されていない項目があるときに、 前の画面を表示します。

④次ページキー >

液晶画面に表示されていない項目があるときに、 次の画面を表示します。

⑤記憶キー 記憶

組み合わせ模様や文字模様をミシンに記憶させると きに押します。 ⑥ 実用/文字模様キー ^{実用}

直線ぬい、ジグザグ、ボタン穴かがり、まつりぬい などの実用ぬいをするときや、文字やサテンステッ チ、クロスステッチなどの模様をぬうときに押しま す。

- ⑦刺しゅうキー (利しゅう) 刺しゅうをするときに押します。 ※別売りの刺しゅう機が必要です。
- ⑧ 設定キー 設定 針停止位置やブザー音などの設定を変更するときに 押します。
- ③使い方キー (型) ます。

 ミシンの使い方を確認するときに押します。上糸セット・下糸巻き・下糸セット・針交換・刺しゅう

 機取り付け/取り外し・刺しゅう枠取り付け/取り

 外し・刺しゅう押え取り付け・押え交換についての

 簡単な説明が表示されます。



ぬう前の準備

ここでは、ぬう前に必要な準備を説明します。

電源を入れましょう	
液晶画面の操作	
糸をセットしましょう	
針を交換する	
押えを交換する	
筒ものや大きなものをぬう	51

電源を入れましょう

ミシンの電源を入れます。

電源に関する注意

電源について気をつけなければいけないことを説明します。





液晶画面の操作

ミシン本体前面の液晶画面には、選択した模様の設定値やメッセージが表示されます。液晶画面下の操作キーを押して表示を切り替えて、直接指で液晶画面に触れて操作します。操作キーについては、「操作パネル」(→P.21)を参照してください。

液晶画面の見方

電源を入れると液晶画面が点灯し、次の実用模様の選択画面が表示されます。





- 模様グループの選択画面を表示させるときは、「^{類別}を押します。詳細は、「模様の種類」(→P.76)で説明します。
- 刺しゅう機が取り付けられているときは、他の画面が表示されます。詳細は、「刺しゅう模様の種類」(→P.162) で説明します。
- ※刺しゅう機は、オプション品です。
- 液晶画面に表示されるメッセージについては、「液晶画面のメッセージ表示」(→P.192)を参照してください。
- 機種によっては、電源を入れるとアニメーションが表示されます。アニメーションが表示されているときは、指で液晶画面に触れると上記の画面が表示されます。

ミシンの設定を確認・変更する

ミシンの機能やぬい方など、設定画面に表示される以下の項目を確認 · 変更することができます。操作のしかたは次ページで説明します。

項目	表示	内容	設定
針位置	‡₩	ミシンがストップしたときの針の停止位置を切り 替えます。	⊤ ₩t ₩ ±
振幅 コントロール	,~V\#	スピードコントロールレバーでジグザグの振り幅を 調節できるように設定します。(→P.111)	ON OFF
模様調整(たて)	‡∥	模様がくずれたときに、模様を上下方向に調整し ます。	-9 ~ +9
模様調整(よこ)	++∥	模様がくずれたときに、模様を左右方向に調整し ます。	-9 ~ +9
糸色表示	Ē	刺しゅうの色替の糸色表示を切り替えます。 (→P.163)	ブラザー刺しゅう糸番号/ カントリー糸番号/ ぬい時間/針数/糸色名
刺しゅう糸調子	-8	刺しゅうのときの糸調子を調節します。	-8 ~ +8
刺しゅう 最高速度	தி	刺しゅうのときの最高速度を切り替えます。	速く <mark>550 350</mark> ゆっくり 5FM 5FM
ブザー	⊾]≫)	操作音を鳴らすか鳴らさないかを設定します。 (→P.195)	ON OFF
オープニング画面	8	電源を入れたときのオープニング画面を表示するか しないかを設定します。 ● 設定できない機種もあります。	ON OFF
基線切り替え	8	電源を入れたときに自動的に選択される直線模様 を切り替えます。	左基線 👱 😃 中基線
言語	8 7	液晶画面に表示される言語を設定します。	日本語/ENGLISH/ DEUTSCH/FRANÇAIS/ ITALIANO/NEDERLANDS/ ESPAÑOL/PORTUGUÊS/ OTHERS
画面調整	\bullet	液晶画面の明るさを調整します。	明 🗕 🛨 暗
プロダクトNO.	_	ミシンのプロダクトナンバーを示します。	_
バージョン		ミシンにインストールされているプログラムのバー ジョンを示します。	



> お知らせ

上記の反転表示は購入時の初期設定です。







プロダクトNQ:*****	<****
バージョン :	1.00
5 実用 文字模様 刺しゆう 設定	記憶使い方

[例] 針位置を上に変更する場合





ぬう前の準備 ―



実用 (字模様

刺しゅう 設定

使い方

5 終わったら、 ⇒(戻るキー)を押します。



▶ もとの画面に戻ります。



● 各項目についての詳細は、本取扱説明書で説明します。

糸をセットしましょう

下糸用の糸を巻いたボビンをセットしたあと、上糸用の糸を通します。



ぬう前の準備

糸をセットしましょう



● 糸こまや糸こま押えが正しく セットされていないと、糸た て棒に糸がからまり、糸切れ や針折れの原因となります。 ● 糸こま押えは糸こまの大きさ に合わせて使用してくださ い。糸こまの直径より小さい 糸こま押えを使用すると、糸 こまの切り欠きなどに糸が 引っかかり、針折れの原因と なります。 ● ナイロン透明糸やメタリック糸などの張りが強 い糸を使用する場合は、付属の糸こまネットを 糸こまに付けてから糸たて棒にセットしてくだ さい。ネットが長い場合は、糸こまの大きさに 合わせて折って使用します。 糸こまネットを使用すると、上糸の調子が強く

糸こま

o ()))(()()))))))

ぬう前の準備

糸をセットしましょう



8 糸を糸案内カバーの奥から手前へかけます。

引き出した糸がたるまないように右手で糸 を持ち、左手で糸案内カバーにかけます。



糸案内板の下から上へ糸をかけます。 9



下糸巻き案内の凸部の下から糸をかけて、 皿の下に通します。



糸が皿の下に確実に通っていることを確 認してください。





引き出した糸がたるまないように左手で持 ち、右手で糸端をボビンに巻きつけます。



注意

1

● 糸は、必ずピンと張った状態 で時計回りに巻いてくださ い。逆方向へ巻くと、下糸巻 き軸に糸が巻きつくことがあ ります。






) 針板ふたの横のつまみを右側へスライド させます。



▶ 針板ふたが開きます。







4 右手でボビンをかまに入れます。



1 注意



5 右手でボビンを軽く押さえ、左手で糸を 引きます。



6 ミゾに沿って糸を通し、最後に手前に引 いてカッターで糸を切ります。



🎄 お願い

内かまの板バネの間に確実に糸が入っていることを確認してください。入っていない場合は、糸をかけ直してください。糸調子不良の原因となります。









糸案内板の下から上へ糸をかけます。



10 矢印のように、ミゾに沿って糸を通します。

引き出した糸をたるまないように右手で持 ち、左手で糸を通します。





11 針棒糸かけに糸をかけます。

左手で糸を押さえ、右手で糸端を持ってか けます。



12 糸を左へ引いて、糸案内皿に糸をかけます。

糸が糸ガイドのミゾに確実に通っていることを確認してください。





ぬう前の準備

■ 手で針に糸を通すとき

糸通し装置が使用できない20番以下の太い糸 や特殊な糸、ウィングニードルなどを使用する ときは、次の手順で針に糸を通します。

)「上糸を通す」(→P.37)の1~10に 従って、針棒糸かけまで上糸を通します。

押えレバーを下げます。



▶ 押えが下がります。

③ 手で糸を持ち、針穴の手前から後ろへ糸 を通します。



4 押えレバーを上げ、糸端を押えの間に通し、後ろ側へ5cmほど引き出します。



2本針を使う

2本針と補助糸たて棒を使用すると、2色の上糸で 同じ模様を平行にぬうことができます。上糸は同質 で同じ太さのものを用意します。 2本針が使用できる模様については、操作早見表の 「模様一覧」を参照してください。



▲ 注意

- 2本針は、必ずブラザー専用2本針を使用してください。他の針を使用すると、針折れや故障の原因となります。
 曲がった針は絶対に使用しないでください。針折れの原因となります。
- 📘 2 本針を取り付けます。
 - 針の取り付け方については、「針を交換す る」(→ P.46) で説明します。



5 2本目の上糸の糸こまと糸こま押えを補 助糸たて棒に差し込みます。

糸が奥から出るように差し込みます。



) 1 本目の上糸と同様に、2 本目の上糸を 通します。



2 針棒糸かけにかけずに、2本目の上糸を 手で右側の針に通します。

針穴の手前から奥へ通します。







針を交換する

針を交換する

注意

4

針の種類と使い分け

ミシン針は、布地や糸の太さによって使い分けます。次の表を参考にして、布地に合った糸と針を選択してください。

● 曲がった針は絶対に使用しないでください。針折れの原因となります。

布地の特徴・種類		ミシン糸		金の話話	
		種類	太さ	11 の作主大員	
普通地	ブロード	綿糸 60~.90			
	タフタ	合繊糸	00.000	11~14	
	フラノ ギャバシン	絹糸	50		
	ローン	綿糸	60~80	9~11	
薄地	ジョーゼット	合繊糸	00 00		
	ポーラ	絹糸	50		
厚地	デニム	綿糸	30~50		
	コーデュロイ	合繊糸 50		14~16	
	ツィード				
のびる布地	ジャージ	一、人田幺	E0 00	ゴールデン針 11~14	
	トリコット	一 ジ 15 用示	50.00		
ほつれやすい布地		綿糸	F0 00	9~14	
		合繊糸	50~80		
		絹糸	50		
ステッチ糸の場合		合繊糸	50	140.16	
×79.		絹糸			

針折れや故障の原因となります。

> お知らせ

- 糸は数字が小さいほど太く、針は数字が大きいほ ど太くなります。
- 購入時は、11番の針がミシンに取り付けられて います。

ゴールデン針

● 針は必ず家庭用ミシン針 (HA×1)を使用してください。他の針を使用すると、

伸縮性のある布地や、目がとびやすい布地に使用します。

ナイロン透明糸

布地や糸にかかわらず14~16番の針を使用します。

刺しゅう用の針

家庭用ミシン針(HA × 1)の11番を使用します。 デニム地などの厚地に刺しゅうする場合は、家庭用 ミシン針(HA × 1)の14番を使用します。

注意

 布地・糸・針の組み合わせが適切 でない場合、ぬい目がふぞろい になり、ぬいじわや目とびの原 因となります。特に、厚い布地 (デニム等)を細い針(9~11 番)でぬうと、針が折れたり曲 がったりするおそれがあります。

■ 正しい針の見分け方

曲がった針は、使用中に折れるおそれがあり大 変危険です。使用する前に、針の平らな面を平ら な板などに合わせて確認し、すき間が平行にな らない針は使用しないでください。



針を交換する

「正しい針の見分け方」で確認した正しい針と、付属のドライバーを用意します。









針は、必ず電源を切ってから交換してください。万一、
 (スタート/ストップスイッチ)が押されると、ミシンが作動してケガをするおそれがあります。







	注息
•	 針は必ずストッパーに当たる まで差し込み、付属のドライ バーで留めネジを確実にしめ てください。針が正しく取り 付けられていないと、針折れ や故障の原因となります。

4 押えの下に布または紙を置いて、針板の 穴をふさぎます。

7

針の留めネジをしめます。

に回します。

けます。

左手で針を支え、右手でドライバーを奥

2本針を使用する場合も、同様に取り付



● 針を交換する前に、押えの下に布や紙を置いて、針が針板の穴から下へ落ちないようにしてください。

5 針の留めネジをゆるめ、針を抜きます。

左手で針を持ち、右手でドライバーを手 前に回します。



- <u> 鉄</u> お願い
 - 留めネジをしめたりゆるめたりするときに、無理な 力を加えないでください。故障の原因となります。



6 新しい針の平らな面が後ろ側になるように、針を針棒に差し込みます。

針が針棒のストッパーに当たるまで差し 込みます。







押えホルダーの後ろ側の黒いボタンを押



します。

押えが押えホルダーから外れます。

5 取り付ける押えのピンと押えホルダーの ミゾが合う位置に押えを置きます。

押えに記されている押え記号(A·G·I· J·M·N·R) が読める向きに置きます。







▶ 押えが押えホルダーに取り付けられます。

押えレバーを上げて、押えが確実に取り 付けられていることを確認します。



お願い

● 模様を選択すると、使用する押えが液晶画面の左 上に表示されます。ぬい始める前に押えを確認 し、他の押えが取り付けられている場合は、手順 に従って正しい押えを取り付けてください。





筒ものや大きなものをぬう

筒ものや大きなものをぬうときは、フリーアームにしたり、エクストラテーブルやワイドテーブルを使用したりすると便利です。



ぬう前の準備



5 エクストラテーブルを裏返し、左右の脚 を収納します。

右脚は、ストッパーレバーを矢印の方向 へ押しながら収納します。





● エクストラテーブルは、脚を収納した状態でハードケースの背面に引っかけて保管することができます。





脚の先端のゴム足を回して高さを調節し







ワイドテーブルを裏返し、4本の脚を収







ここでは、基本のぬい方と上手にぬうコツなどを説明します。

ぬってみましょう	56
ぬい目を調節する	64
便利な機能	66
上手にぬうコツ	70

ぬってみましょう

ここでは、基本のぬい方を説明します。

▲ 注意

\bigcirc	● ミシン操作中は、針の動きに十分注意してください。また、針やプーリーなど、動 いているすべての部品に手を近づけないでください。ケガの原因となります。
\triangle	 ● 縫製中は、布地を無理に引っ張ったり押したりしないでください。ケガや針折れの原因となります。
0	 ● 曲がった針は絶対に使用しないでください。針折れの原因となります。 ● 縫製中は、まち針などが針に当たらないように注意してください。針が折れたり 曲がったりするおそれがあります。

ソーイングの手順

ミシンをかけるときの基本の手順は次のとおりです。















▶ 布地がセットできました。





準備ができたらミシンをスタートさせます。 操作ス イッチの 🞯 (スタート/ストップスイッチ)または 付属のフットコントローラーで操作します。



● フットコントローラーをミシン本体に接続しているときは、
 (スタート/ストップスイッチ)は使用できません。

■ 操作スイッチを使う

操作スイッチの ((スタート/ストップスイッチ)を指で押して操作します。

1 スピードコントロールレバーを左右に動かして、速度を調節します。

左に動かすと遅く、右に動かすと速くなり ます。







▶ ミシンがスタートします。

ぬい始めと ((スタート/ストップス イッチ)を押している間は、ゆっくり進 みます。



3 ぬい終わりの位置まできたら、 (スター)
ト/ストップスイッチ)を1回押します。

針が下がった(布地に刺さった)状態でミシンがストップします。

〉お知らせ

 ● ミシンがストップしたときに針が上になるよう に設定することもできます。「ミシンの設定を確 認・変更する」(→P.27)を参照してください。

④ ①(針上下スイッチ)を押して、針を上 げます。



●「糸を切る」(→P.62) で説明します。



ぬい方の基本 -



😑) 糸を切ります。

●「糸を切る」(→ P.62) で説明します。



返しぬい/止めぬいをする

ぬい始めとぬい終わりは、糸の端がほつれないよう に返しぬいまたは止めぬいをします。

■ 返しぬいをする

返しぬいは、¹ .3 .7 の模様に設定されています。

ここでは、直線ぬいの場合を例に説明します。

ねい始めの位置に針を刺し、押えレバーを下げます。



(○) (スタート/ストップスイッチ)の場合は、スイッチを押したままにすると、ゆっくりと進みます。

●詳細は、「ミシンをスタートさせる」
 (→ P.58)を参照してください。



▶ ミシンがスタートします。

ぬってみましょう



- いる間、後
 - 7 3~5 針ほどぬったら、①(返しぬいス イッチ)から手を離します。

6 ぬい終わりの位置まできたら、①(返し)

3~5 針戻るまで① (返しぬいスイッ

▶ ()(返しぬいスイッチ)を押している間、後

ぬいスイッチ)を押します。

チ)を押したままにします。

ろに向かって針が進みます。

▶ ミシンがストップします。

8 (スタート/ストップスイッチ)を押すか、またはフットコントローラーを踏みます。

◎ (スタート/ストップスイッチ)の場合は、スイッチを押したままにすると、ゆっくりと進みます。

▶ 通常の向きに針が進みます。

9 ぬい終わりの位置まできたら、ミシンを ストップさせます。

> (スタート/ストップスイッチ)を押す か、フットコントローラーから足を放します。





ぬい始めの位置に戻るまで①(返しぬい スイッチ)を押したままにします。



- (返しぬいスイッチ)を押している間、後ろに向かって針が進みます。
- 4 ぬい始めの位置まで戻ったら、①(返し ぬいスイッチ)から手を離します。

▶ ミシンがストップします。

5 (スタート/ストップスイッチ)を押 すか、またはフットコントローラーを踏 みます。





■ 止めぬいをする

1 .3 .3 .7 以外の模様で(1)(返しぬいス イッチ)を押すと、止めぬいになります。スイッ チを押したままにすると、同じ場所で3~5針 重ねてぬって止まります。





● 返しぬい/止めぬいを自動で行うこともできます。「自動で返しぬい/止めぬいをする」
 (→P.66)を参照してください。



ぬい終わったら、糸を切ります。操作スイッチの 🗷 (糸切りスイッチ)またはミシン本体左側面の糸切り を使用します。

■ 操作スイッチを使う

 はい終わりの位置で、丞(糸切りスイッ チ)を1回押します。



▶ 糸が切れ、針が上に上がります。

2)押えレバーを上げて、布地を取り出します。



▲ 注意

- 糸を切ったあとに、 (糸切 りスイッチ)を押さないでく ださい。針折れや糸がらみ、 故障の原因となります。
 ● 布地が押えの下にないとき
 - や、ミシンが動いているとき は②(糸切りスイッチ)を押 さないでください。故障の原 因となります。

> お知らせ

ゆい終わりに自動的に糸を切るように設定することもできます。「自動で糸を切る」(→P.67)で説明します。

■ 糸切りを使う

30番よりも太い糸やナイロン糸、メタリック糸 などの特殊な糸は、ミシン本体左側面の糸切り で糸を切ります。

ぬい終わったら、ミシンをストップさせ、
 ①(針上下スイッチ)を1回押して、針を上げます。











ぬい目を調節する

ジグザグの振り幅やぬい目の長さ、糸調子(上糸と下糸の強さのバランス)は、あらかじめ模様ごとの 適切な数値に設定されています。必要に応じて設定を変更するときは、液晶画面の 🚾 を押したあと、 次の説明に従って操作してください。



⊳ お知らせ

- 思い通りに糸調子を調節できないときは、「困ったとき」(→P.188)を参照してください。
- 模様によって、変更できない設定もあります。詳細は、操作早見表の「模様一覧」を参照してください。
 設定を変更したあとに、ミシンの電源を切ったり他の模様を選択したりすると、もとの数値に戻ります。
- 設定を記憶させておきたいときは、「模様の設定を記憶させる」(→P.68)を参照してください。



ぬい目の長さを調節する

ぬい目の長さをあらくしたり細かくしたりすること ができます。



ぬい目の長さの- を押すごとに、ぬい目が細かく なります。



ぬい目の長さの・を押すごとに、ぬい目があらくなります。



リセットを押すと、もとの数値に戻ります。



糸調子を調節する

糸調子が合わないときや、特殊な糸や素材を使用す るときは、上糸の調子を調節します。

JC	¥∩≥
ê êê	リセット記憶
~\\\ mm 0.0	mm 2.5 ∞ 4.0
-+	-+-+

正しい糸調子

上糸と下糸が布地の中央でまじわります。 布地の表 には上糸、裏には下糸のみが見えます。



上糸が強いとき

布地の表に下糸が見えます。 - を押して、上糸を 弱くします。



上糸が弱いとき

布地の裏に上糸が見えます。 → を押して、上糸を 強くします。



リセットを押すと、もとの数値に戻ります。

🌋 お願い 🂧

●下糸セットと上糸通しが正しく行われていない場合、糸調子が合わないことがあります。糸調子を 調節しても糸調子が合わないときは、下糸セット と上糸通しをやり直してください。 ぬい目を調節する

便利な機能

ここでは、役に立つ便利な機能を説明します。

自動で返しぬい/止めぬいをする

ぬい始めとぬい終わりに、自動で返しぬいまたは止 めぬいをするように設定します。 詳細は、操作早見表の「模様一覧」を参照してくだ さい。

電源を入れます。



液晶画面が点灯します。



模様を選択します。

● 模様の選び方は、「模様を選ぶ」(→P.77) を参照してください。

3 ♀を押します。

ボタン穴かがりやかんどめなど、止めぬ いが含まれている模様を選択したときは、 この操作は必要ありません。



▶ 🔂 になり、自動返しぬい/止めぬいが設定 されます。

æ					۴G	$\mathbf{>}$
	•	=		44	 	⊿¦⊾ 1/71
₩₩ 0.0 ₩ 2.5 ₩ 4.0						

お知らせ

- 自動返しぬい/止めぬいを解除するときは、 🔒 を押します。
- 電源を切ると、自動返しぬい/止めぬいの設定は 解除されます。

布地をセットし、(2)(スタート/ストップ) 4 スイッチ)を1回押します。



- ▶ 返しぬいまたは止めぬいをしてから、ぬい始 めます。
- 5 ぬい終わりの位置まできたら、①(返し ぬいスイッチ)を1回押します。

ボタン穴かがりやかんどめなど、止めぬ いが含まれている模様を選択したときは、 この操作は必要ありません。



▶ 返しぬいまたは止めぬいをしてから、ミシン がストップします。



お知らせ

● ぬっている途中で、 (スタート/ストップス イッチ)を押したときは、自動で返しぬい/止め ぬいはしません。ぬい終わりで ()(返しぬいス イッチ)を押してください。

便利な機能







▶ 次に同じ直線模様を選択すると、ぬい目の 長さが 2.0mm に設定されます。



- ぬい目の長さ以外の、ジグザグの振り幅や糸調
 子、自動糸切りや自動止めぬいなどの設定も記憶します。
- 自動糸切りや自動止めぬいの設定を変更した場 合、**川**・小を押してももとの設定に戻りません。

上手にぬうコツ

ここでは、上手にぬうためのコツを説明します。ソーイングをするときの参考にしてください。

試しぬいをする

本製品は、模様を選択すると、自動的に適切な模様 の幅と長さが設定されるようになっています。

しかし、布地の種類やぬい方によっては必ずしも思 い通りにならないことがあるので、試しぬいをする ようにしましょう。

試しぬいは、実際に使用する布地のはぎれと糸を使 用して、糸調子や模様の幅・長さを確認します。ぬい 方や、布地を何枚重ねてぬうかによってもぬった結 果は異なるので、実際にぬうものと同じ状態で試しぬ いをします。

ぬう方向を変える



|L

カーブをぬう

うにぬいます。

ジグザグ模様をぬうときは、ぬい目の長さを短めに するときれいに仕上がります。

途中でミシンをストップさせながら、少しずつ向き

を変えてぬいます。「ぬいしろの幅をそろえる」

(→P.72)を参考にして、ぬいしろと平行になるよ



▶ 角までぬったら、ミシンをストップさせ ます。

> このとき、針が下がった(布地に刺さっ た)状態にしておきます。もし針が上がっ ている場合は、①(針上下スイッチ)を 押して針を下げます。

押えレバーを上げ、布地を持って回転さ せます。

針位置を基点に回転させます。


押え圧を調節する

押え圧(押えが布地を押さえる強さ)を調節するこ とができます。伸びる布地や薄地を使用するときは 強く、厚地を使用するときは弱くすると、きれいに 仕上がります。





押えレバー

ミシン本体背面の押え圧ダイヤルを回して、押え圧を調節します。

押え圧は1~4の4段階で調節します。 数字が小さいほど弱く、大きいほど強く なります。



3 ぬい終わったら、ダイヤルを3(標準)に 戻します。

厚い布地をぬう

■ 押えの下に布地が入らないとき

押えレバーをさらに上に上げると、押えがもう 一段階上がります。



■ ぬい始めに段差があって布地が送られない とき

ジグザグ押え <J> には、押えを水平にする機能が付いています。



1)押えレバーを上げます。

ジグザグ押え <J> の左側の黒いボタン (押え固定ピン)を押したまま、押えレ バーを下げます。



押えが水平になり、布地が送られるように なります。



▶ ぬい進めると、押えはもとに戻ります。



薄い布地をぬう

薄い布地をぬうと、ぬい目がつれてしまったり、布 がうまく送れないことがあります。

その場合は布地の下にハトロン紙などの薄い紙を敷いて、布地と一緒にぬいます。ぬい終わったら、紙をやぶって取り除きます。



伸びる布地をぬう

あらかじめしつけをして、布地を引っ張らないよう にぬいます。



また、ニット用の糸を使用したり伸縮ぬいを使用す ると、きれいにぬうことができます。

ビニールや皮をぬう

ビニールコーティングや皮革など、押えに貼り付い てぬいにくい素材には、スムースフット(テフロン 押え)を使用します。



ぬいしろの幅をそろえる

布端と平行に一定の幅でぬうときは、ぬいしろの端 が右側になるようにぬい始め、押えの右端か針板の 目盛りを基準にしてぬいます。

■ 押えを基準にする

押えの右端と布端が一定の幅で平行になるよう にぬいます。



■ 針板を基準にする

針板には、直線 [左] の針位置からの長さが表示 されています。針板に刻まれている目盛りと布端 を合わせてぬいます。上側の目盛りは 1/8 イン チ(約 3mm)間隔、下側の目盛りは 5mm 間隔 になっています。



■ ステッチガイド押えを使用する

ステッチガイド押えには、2mm間隔に目盛りが 付いています。布端を目盛りに合わせてぬうと、 ぬいしろの幅をそろえてぬうことができます。



■ ガイド付まつりぬい押えを使用する

別売りのガイド付まつりぬい押えでは、ガイド の幅を変更して布端をガイドに合わせてぬうと、 ぬいしろの幅をそろえてぬうことができます。



ニーリフターを使う

ニーリフターを使用すると、ひざで押えを上げ下げ することができます。キルトなどをぬうときに、両 手があき作業がしやすくなります。

※購入時は、ワイドテーブルの裏面に取り付けられ ています。

ユーリフター差し込み口にニーリフター を差し込みます。

> ニーリフターのタブを差し込み口のミゾ に合わせて、奥までしっかりと差し込み ます。





● ニーリフターは差し込み口の奥までしっかりと差し込んでください。正しく差し込まれていないと、使用中に外れることがあります。

2 押えを上げるときは、ニーリフターをひ ざで右に押します。押えを下げるときは、 ニーリフターからひざを放します。



上手にぬうコツ





いろいろなぬい方

ここでは、いろいろなぬい方とその使い方を説明します。

ぬい方を選びましょう	76
ぬいしろを始末する	
地ぬいをする	85
すそ上げをする	
ボタン穴かがりをする/ボタンを付ける	89
ファスナーを付ける	
ファスナーを付ける/パイピングする	
伸びる布地やゴムテープをぬう	
アップリケ/パッチワーク/キルトをぬう	
丈夫にしたいところをぬう	
はとめ穴を作る	
横送り(直線・ジグザグ)	
飾りぬいをする	
いろいろな模様をぬう	
オリジナル模様を作る(マイイラスト機能)	

ぬい方を選びましょう

ぬう模様を選択します。

模様の種類

模様は、実用模様・飾り模様・サテンステッチ・実用 飾り模様・クロスステッチ・飾りサテン・アルファ ベット3種類・ひらがな/カタカナ・マイイラスト 模様の11グループの模様があります。 模様の種類は、操作早見表の「模様一覧」を参照して ください。

[素報] (実用/文字模様キー)を押すと、次の画面が 表示されます。



①実用模様

直線やたち目かがり、ボタン穴かがりなど、71 種類の実用模様があります。

② マイイラスト模様

マイイラスト機能でオリジナル模様を作ること ができます。「オリジナル模様を作る(マイイラ スト機能)」(→ P.140)を参照してください。

③ **アルファベット(ゴシック体)** ゴシック体のアルファベットや記号、数字など

97 文字あります。

文字あります。

④ アルファベット(筆記体)

筆記体のアルファベットや記号、数字など97文 字あります。

⑤ アルファベット(アウトライン)

アウトライン (白抜き文字) のアルファベットや 記号、数字など 97 文字あります。

⑥ **ひらがな/カタカナ** ひらがなやカタカナ、記号、数字、漢字など204

⑦ 飾り模様

葉や花、ハートなど、31種類の飾り模様があり ます。

⑧ サテンステッチ

18種類のサテンステッチがあります。

③ 実用飾り模様

模様を組み合わせることができる 39 種類の実 用模様があります。

⑩ 飾りサテン

10種類の飾りサテンがあります。

① クロスステッチ

15 種類のクロスステッチがあります。

⑩ ミシンに記憶させた模様の呼び出し

よく使用する文字の組み合わせなどの模様をミ シンに記憶させて、あとで呼び出してぬうこと ができます。10組までの模様を記憶させること ができます。記憶のさせ方と呼び出し方につい ては、「模様を記憶させる」(→P.136)を参照 してください。





6 模様を選択します。

| < |(前ページキー)で前の画面、 | > | (次ページキー)で次の画面が表示されま す。





- 他の模様を選択するときは、削除を押して選択し た模様を消去します。
- 5 を押すと、模様グループの選択画面に戻り ます。

必要に応じて、自動返しぬい/止めぬい やぬい目の長さなどを設定します。

- 自動返しぬい/止めぬいなどの設定につ いては、「便利な機能」(→P.66)を参照 してください。
- 振り幅・ぬい目の長さ・糸調子設定の設 定については、「ぬい目を調節する」 (→P.64)を参照してください。



実用模様を選択したときは、模様の番号 と振り幅・ぬい目の長さ・糸調子が表示 されます。





● 模様を選択すると、使用する押えが液晶画面の左 上に表示されます。ぬい始める前に押えを確認 し、他の押えが取り付けられている場合は、「押 えを交換する」(→P.48)の手順に従って正しい 押えを取り付けてください。

■ アルファベットを選ぶ

アルファベットは3書体内蔵されています。文字 の選び方はどの書体でも同じです。

- 「模様を選ぶ」(→ P.77)の 🕦 ~ 4 に 1 従って、模様グループの選択画面を表示 させます。
- 書体を選択します。 2



文字を選択します。 3



お知らせ

- 誤って文字を選択したときは、削除を押して文字 を消去してから正しい文字を選択します。
- 書体を変えるときは、 5 を押してから新しい書 体を選択します。
- 確認を押すと、選択した模様を確認することがで きます。









ľ≊B	u.	#6	3
mn	<u> </u>	<u>lar</u>	確認
S⊺t W‱[/	Aa t	1001へ 小口の	
5	<	>	記憶
実用 文字模様	刺しゅう	設定	使い方



■ ひらがな/カタカナを選ぶ

 「模様を選ぶ」(→ P.77)の1 ~ 4 に 従って、模様グループの選択画面を表示 させます。

2 あいを押します。



3 文字を選択します。

行を選択してから文字を選択します。
あアを押すと、ひらがな/カタカナが切り替わります。



🍃 お知らせ

- 誤って文字を選択したときは、**削除**を押して文字 を消去してから正しい文字を選択します。
- ●確認を押すと、選択した模様を確認することができます。

[例]「一年かとう」を選択する場合





ぬいしろを始末する

裁断した布端がほつれないように、たち目かがりをします。 たち目かがりに使用できる模様は、全部で 15 模様あります。 使用する押えごとにぬい方を説明します。

たち目かがり押え <G> を使ったたち目かがり

次の3模様を選択したときは、たち目かがり押え <G>を使用します。

夕称	描样	用涂		振り幅	ぬい	い目の長さ	畑マ
יטייבר	175148	77322	自動	手動	自動	手動	172
		普通地・薄地のほつれ止め	3.5	25-50	2.0		
たち目かがり		原地・ほつわめすい左地のほつわ止め	50	2.0 -0.0	0.5	1.0~4.0	G
		1年1日、1日、2月に1日、2月に1日、2月に1日の1日、2月に1日の1日、1日、2月に1日、1日、2月に1日、2月に1日、2月に1日、2月に1日、2月に1日、2月に	0.0	3.5~5.0	2.0		

- **1** たち目かがり押え <G> を取り付けます。
 - ●「押えを交換する」(→P.48)を参照して ください。





●「模様を選ぶ」(→P.77)を参照してください。





3 押えのガイドと布端が合うように布地を セットし、押えを下げます。





4



ジグザグ押え <J> を使ったたち目かがり

次の7模様を選択したときは、ジグザグ押え <J>を使用します。

夕称	増増	用冷	振り幅		ぬい目の長さ		畑マ
ישיובר	175138	田極	自動	手動	自動	手動	17~
ジグザグ [中]	7	通常のほつれ止め(中基線/返しぬい)		0.0~7.0	14	0.0~4.0	
ジグザグ [右]	8	通常のほつれ止め(右基線/止めぬい)	0.0	2.5~5.0	1.4	0.3~4.0	
2点ジグザグ	9	同地、仲パラ本地のほつれに め	- 5.0	1.5~7.0	1.0	0.2~4.0	J
3点ジグザグ		厚地・甲Cるゴロビクはフィ(エの					
		伸びる布地のほつれ止め			25		
たち目かがり	15	厚地・伸びる布地のほつれ止め		0.0~7.0		0.0 *4.0	
		伸びる布地のほつれ止め	4.0		4.0	1.0~4.0	



 ●「押えを交換する」(→P.48)を参照して ください。



2 模様を選択します。

●「模様を選ぶ」(→P.77)を参照してください。







布端より少し外側に針を落としてぬいます。





サイドカッター押え <S> を使ったたち目かがり

サイドカッター押え <S>を使用して、布端を切りながらぬいしろを始末することができます。液晶画面で模様に「S」と表示されている次の5模様から選択します。

夕 称	横搖	田淦		振り幅	દ્ધા	1目の長さ	畑マ													
	170146		自動	手動	自動	手動	1776													
	⁶³	布地を切りながら直線ぬい	0.0	0.0~2.5	2.5	0.2~5.0														
	⁶⁴	布地を切りながらジグザグ					0.5											0.5	1.4	0.0~4.0
たち目かがり	⁶⁵	布地を切りながら薄地・普通地のほつれ止め	3.5	- 3.5~5.0	- 3.5~5.0				25.50	2.0		s								
	66	布地を切りながら厚地のほつれ止め	5.0			3.5~5.0	1.0~4.0	1.0~4.0	c											
		布地を切りながら厚地のほつれ止め	0.0	2.5																



- 1 押えを取り外します。
 - 「押えを交換する」(→P.48) を参照して ください。
- 2 サイドカッター押え<S>の作動レバーの ふたまた部分で、針の留めネジの棒を後 ろからはさみます。



3 サイドカッター押え <S> のピンと押え ホルダーのミゾが合う位置にサイドカッ ター押え <S> を置き、押えレバーを ゆっくり下げます。



▶ サイドカッター押え<S>が取り付けられます。

- 4 押えレバーを上げて、サイドカッター押 え<S>が取り付けられていることを確認 します。
- 5 上糸はサイドカッター押え<S>の下を通して、後ろ側に引き出します。



ぬいしろを始末する



模様を選択します。

● 「模様を選ぶ」 (→ P.77) を参照してくだ さい。



布地のぬい始めの部分に 2cm の切り込 みを入れます。





8 布地をセットします。

布地の切り込みを入れた部分を、サイド カッター押え <S>のガイドプレートの 上に置きます。



● 布地を正しく置かないと、布地が切れません。

押えレバーを下げ、ミシンをスタートさ せます。



ぬいしろを裁断しながらぬっていきます。



約5mmになります。





- ▶ サイドカッター押え<S>で切れる布地の厚さは、 13オンスデニム1枚程度までです。
- サイドカッター押え <S>を使用したあとは、糸 くずやほこりを取り除いてください。
- 布地が切れなくなってきたときは、サイドカッ ター押え <S>の刃を少量の油を含ませた布でふ いてください。

地ぬいをする

夕称	増烊	田途 振り幅 ぬい目の長		振り幅		い目の長さ	ᄪᅙ		
	17(13)	77.22	自動	手動	自動	手動	172		
しつけぬい		仮止め			20	5~30			
直迫 [士]] =	地ぬい、ギャザー、ピンタックなど(左基線/ 返しぬい)	0.0	0.0	0.0	0.0			
但称 [江]	2	地ぬい、ギャザー、ピンタックなど(左基線/ 止めぬい)		0.0~7.0	0.5	0.2~5.0	J		
直線 [中]	3	地ぬい、ギャザー、ピンタックなど(中基線/ 返しぬい)	3.5		2.0				
三重ぬい	4	ぬい目を丈夫にしたいとき、伸びる布地のとき	0.0			1.5~4.0			

基本となる直線ぬいをします。直線ぬいは、次の5模様から選択します。

しつけぬい	地ぬい
5mmの長さのぬい目でしつけぬいをします。	
● ジグザグ押え <j> を取り付けます。</j>	ぬい合わせるところを、しつけまたはまち針で留めます。
● 「押えを交換する」(→P.48)を参照 ください。	して 2 ジグザグ押え <j> を取り付けます</j> 。
	● 「押えを交換する」(→P.48) を参照して ください。
2 模様 ⁰ [] を選択します。	
●「模様を選ぶ」(→P.77) を参照して さい。	<だ 3 模様を選択します。
Ţ <u>Ē</u> + *,≥8 /2 /2 ≥8 /2 /2 ≥8 /2 /2 ≥8 /2	●「模様を選ぶ」(→P.77)を参照してくだ さい。
3 ミシンをスタートさせます。	
 ●「ミシンをスタートさせる」(→P.58 参照してください。 	3)を



4 プーリーを手前に回してぬい始めの位置 に針を刺します。

- 押えレバーを下げ、ミシンをスタートさ 5 せます。
 - 「ミシンをスタートさせる | (→ P.58) を 参照してください。
 - 返しぬいをする場合は、「返しぬい/止めぬ いをする」(→P.60)を参照してください。
- 6 ぬい終わったら、糸を切ります。
 - 「糸を切る」 (→P.62) を参照してください。



■ 針位置を変えるとき

直線 [左] と直線 [中] は、基線となる針位置が 異なります。



直線 [左] は、ジグザグの振り幅が標準の設定 (0.0mm)のときに、針位置から押えの右端ま で12mm あります。振り幅を変更(0.0~ 7.0mm) すると、針位置が変えられます。 押え の右端に布端を合わせてぬうと、一定の幅でぬ うことができます。



すそ上げをする

夕称	坩垟	田注		振り幅	ಹು	い目の長さ	畑マ
1010	17-14	州堡	自動	手動	自動	手動	172
まつりゆい	17 ぎ通地のまつりぬい	0.0	00	2.0	10.25	Б	
まつりぬい	18	伸びる布地のまつりぬい	0.0	3⊷~→3	2.0	1.0~3.5	п

スカートやズボンのすそをまつります。まつりぬいは、次の2模様から選択します。

次の手順でまつりぬいをします。



針落ち位置を変更するときは、針を上げ てからジグザグの振り幅を変更します。



針がかかりすぎているとき

針が左側にいきすぎています。 振り幅の ● を押して針位置を右に動かし、針が折 り山に少しかかるように調節します。



針がかかっていないとき

針が右側にいきすぎています。 振り幅の - を押して針位置を左に動かし、針が折 り山に少しかかるように調節します。





7 折り山に押えのガイドを沿わせてぬいます。

8 しつけをほどき、布地を表に返します。



ボタン穴かがりをする/ボタンを付ける

ボタン穴を作ったり、ボタンをぬい付けたりします。ボタン穴は、用途に合わせて次の10模様から選択します。

名称	模様	用途		振り幅	ຜເ	川日の長さ	押え
	40.		自動	手動	自動	手動	
	⁴⁸ [薄地・普通地のねむり穴、横穴					
	⁴⁹ ()	力がかかるところの横穴		20 E0	0.4	00.10	
	50	厚地の横穴	5.0	3.0~5.0	0.4	0.2~1.0	
	51	張りのある素材の両止め用					
	52	伸びる布地・編み地用	6.0 3.0~	20-60	1.0	0.5~2.0	^
פימימאל פאר	53	伸びる布地用		3.0~0.0	1.5	1.0~3.0	A
	54	玉ぶち穴かがり(バウンドボタンホール)	5.0	0.0~6.0	2.0	0.2~4.0	
	55 🚺	厚地・毛足の長い布地のはとめ穴					
	56	普通地・厚地のはとめ穴	7.0	3.0~7.0	0.5	0.3~1.0	
	57	厚地・毛足の長い布地の横穴					
ボタン付け	61	ボタン付け	3.5	2.5~4.5	_	_	М

ボタン穴かがりをする

「ボタンの直径+厚み」が約28mm以下のボタン穴を作ることができます。 ボタン穴かがりは、次の順で押えの手前から後ろに向かってぬっていきます。





ボタン穴かがりで使用するボタン穴かがり押え<A>の各部の名称は次のとおりです。



ボタン穴かがりをする位置にチャコペン などで印を付けます。





) ボタン穴かがり押え <A> の台皿を引き 出し、ボタンをのせてはさみます。

ボタンが台皿にのらないとき

「ボタンの直径+厚み」を、押えスケールの目盛り(1 目盛り5mm)に合わせて、ボタンホールの大きさ を決めます。



[例] 直径 15mm、厚み 10mm のボタンの場合 →スケールを 25mm に合わせる



- ▶ ボタン穴かがりの大きさが決まります。
- 3

2

ボタン穴かがり押え<A>を取り付けます。

- ●「押えを交換する」(→P.48)を参照して ください。
- 4 模様を選択します。
 - 「模様を選ぶ」(→P.77) を参照してくだ さい。





5 押えの赤の印と布地の印の手前側を合わ せ、押えを下げます。



上糸は押えの穴から押えの下に通してお きます。



● 押えを下げるときに、押えの手前部分を押さない でください。ボタン穴かがりを正確な大きさにぬ えません。







ゆった部分を切らないように、かんぬき 止めの内側にまち針を刺します。



11 付属のリッパーでボタン穴を切り開きます。



はとめ穴の場合は、付属のはとめ穴パン チで穴をあけてから、リッパーで切り開 きます。





それがあります。

リッパーで穴をあける方向に、
 手や指を置かないでください。
 すべったときにケガをするお



いろいろなぬい方 -





10 ボタン付けが終わったら、ドロップレバーを 背面から見て右側(★★) にします。 お知らせ 注意 ● ドロップレバーは通常、右側にしておきます。 ● 送り歯は、次にぬい始めたときに上がります。 ● ぬう際には、ボタンに針が当 たらないように注意してくだ さい。針が折れたり曲がった ■ 足を付けるとき りするおそれがあります。 ボタンの付け根に足(糸足)を付けるときは、ボ タンと布地の間にすき間をあけた状態でぬい、 あとで手で巻き付けます。ボタンをしっかりと 付けることができます。 8 ミシンをスタートさせます。 スピードコントロールレバーは「ゆっく ボタン付け押え <M> にボタンを取り付 りしにします。 けたら、足レバーを手前に引きます。 Ø 足レバー ぬい終わったら、上糸を長めに切り、ボ タンと布地の間の糸足に巻き付けて、ぬ ▶ ぬい終わると、自動的に止めぬいをしてス い始めの上糸と結びます。 トップします。 ぬい始めとぬい終わりの下糸は、布地の 裏側で結びます。 お願い ● あとで糸端を結ぶので、(ス)(糸切りスイッチ)は 使用しないでください。 3 余分な糸を切ります。

9

ぬい終わりの上糸を布地の裏に引き出し、

ぬい始めの上糸と下糸は、はさみで切り

下糸と結びます。

ます。

プーリーを手前に回し、針がボタンに当 たらずにボタン穴に交互に入るか確認し ます。

針がボタンに当たりそうな場合は、ボタ ン穴の距離を計り直します。

95

ファスナーを付ける

ファスナーをぬい付けます。

夕称	増烊	田冷		振り幅	ぬい	川日の長さ	畑ラ
1010	17(14)		自動	手動	自動	手動	JT72
直線 [中]	3	ファスナー付け おとしミシンやピンタック	3.5	0.0~7.0	2.5	0.2~5.0	I

ファスナーの付け方によってぬい方が異なります。ここでは、つき合わせと片返しの場合のぬい方を説明します。



い
3
い
ろ
な
8
い
方
• =

ファ
ź
ĺ
を付
ける

	~
7 片押え <i> のピンの右側を押えホルダー に取り付けます。</i>	
●「押えを交換する」(→P.48)を参照して ください。 ビン右側 「」」 ● 針落ち位置	
 8 模様 ° [] を選択します。 ● [模様を選ぶ] (→ P.77) を参照してくだ 	
2000 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	• 10 しつけを
 注意 ト押え<>を使用するときは、 必ず直線[中]を使用し、プー リーをゆっくりと手前に回し て針が押えに当たらないこと を確認してください。他の模 様を使用すると、針が押えに 当たり、折れたり曲がったり するおそれがあります。 	

6 でき上がり線のしつけを布端から5cm

5cm

程度ほどきます。

ファスナー のしつけ へ 🨉 布地の表からステッチをかけます。

ファスナーのスライダーが押えに当たる 場合は、スライダーを何回か動かしなが らステッチをかけます。





	注意
0	● ぬう際には、ファスナーに針が 当たらないように注意してくだ さい。針が折れたり曲がったり するおそれがあります。

しつけをほどきます。

いろいろなぬい方 -

片返し

布地の片側にステッチが入ります。脇ファスナーや 後ろファスナーのときに使用します。



ここでは、脇ファスナーの場合を例に説明します。

│ ジグザグ押え <J> を取り付けます。

● 「押えを交換する」(→P.48) を参照して ください。

()0	
	<u> </u>

2 あき止まりから下側に地ぬいをします。 布地は中表にし、あき止まりは返しぬい をします。

- ●「地ぬいをする」(→P.85)を参照してく ださい。
- 3 ファスナーを付ける部分のでき上がり線 にしつけをします。



4 ぬいしろを割り、裏からアイロンをかけ ます。







6 3mm 出した折り山とファスナーのむし の端を合わせて、しつけまたはまち針で 留めます。









13 片押え <I> のピンの逆側を押えホルダー に取り付けます。

⑦ で右側に取り付けた場合は、左側に取り付けます。



14) 布地の表からステッチをかけます。

あき止まり側から返しぬいをし、しつけ をめやすにしてぬいます。





- 15 残り 5cm ほどまでぬったらミシンをス トップさせ、針を下げたまま押えを上げ ます。
- 16 でき上がり線のしつけをほどいてファス ナーを開き、続きをぬいます。



ファスナーを付ける/パイピングする

ファスナーをぬい付けたり、パイピングしたりします。

夕称	2称 描述 四次			振り幅	ぬい	1目の長さ	细支
121727	17,138	用壓	自動	手動	自動	手動	172
直線 [左]	1 = 	ファスナー付け おとしミシンやパイピング	0.0	0.0~7.0	2.5	0.2~5.0	

ファスナー付けやパイピングには、いろいろな方法があります。ここでは、調節付き片押えを使用した、 つき合わせとパイピングの方法を説明します。





パイピング



伸びる布地やゴムテープをぬう

伸びる布地をぬったり、ゴムテープをぬい付けたりします。

名称	増垟	ŧ 用途	振り幅		ぬい目の長さ		畑マ	
	1714		自動	手動	自動	手動	172	
伸縮ぬい	5 4	伸びる布地	1.0	1.0~3.0	2.5	1.0~4.0		
2点ジグザグ	9		5.0	1.5~7.0	1.0	0.2~4.0		
3点ジグザグ	10	טמע – ראר					J	
ゴムひもつけ	34	伸びる布地のゴムテープ付け	4.0	0.0~7.0				

伸縮ぬい



● 「押えを交換する」(→P.48) を参照して ください。





●「模様を選ぶ」(→P.77)を参照してください。



3 布地を伸ばさないようにぬいます。



いろいろなぬい方 -

ゴムテープ付け

そで口やウエストなどにゴムテープをぬい付ける場 合、ゴムテープが縮んでいる状態ができ上がり寸法 になります。必要な長さのゴムテープを用意します。



布地とゴムテープが均等になるように数 か所留めます。







● 「押えを交換する」 (→P.48) を参照して ください。





● 「模様を選ぶ」 (→ P.77) を参照してくだ さい。

2点ジグザグ



ゴムひもつけ



ゴムテープが布地と同じ長さになるよう に伸ばしながらぬいます。

左手で後ろ側の布地を引っ張り、右手で 押えに一番近いまち針のところを引っ張 ります。







アップリケ/パッチワーク/キルトをぬう

アップリケやパッチワーク、キルトをぬうときに使用する模様について説明します。 キルトをぬうときは、フットコントローラーやニーリフターを使用すると便利です。フットコントロー ラーとニーリフターの使い方については、「フットコントローラーを使う」(→P.59)、「ニーリフター を使う」(→P.73)を参照してください。

夕称	増増			振り幅		ぬい目の長さ			
- <u>––</u> ––––––––––––––––––––––––––––––––––	17,1.8		自動	手動	自動	手動	172		
ジグザグ	7	アップリケ布のぬい付け(中基線/返しぬい)	3.5	0.0~7.0	1.4	0.0~4.0			
	24	アップリケキルト、フリーモーションキルト、 サテンぬい							
アップリケ	19	アップリケ布のぬい付け		2.5~5.0	2.5	1.6~4.0			
	25 	アップリケ、バインディング	1.5	0.5~5.0	1.2	1.0~4.0			
ピーシング直線	21 !p	ピーシング用直線 (押え右端から7mmのぬいしろ)	5.0	0.0~7.0	0.0~7.0	0.0~7.0	16	0.2- 5.0	
	22 P	ピーシング用直線 (押え左端から7mmのぬいしろ)	2.0				0.0~7.0	0.0~7.0	
つき合わせ	28		4.0		1.2	0.2~4.0			
	²⁹	- パッチワーク -	5.0	2.5~7.0	2.5	1.0~4.0			
	³⁰ /-^-/-		5.0	0.0- 7.0	1.2	0.2~4.0			
手ぬい風直線	23	手ぬい風キルト直線	0.0	2.	2.5	10.40			
キルティング模様	26	キルトの背景ぬい	7.0	1.0~7.0	1.6	1.0~4.0			

> お知らせ

 液晶画面に「Q」と表示されている模様はキル ティング用、「P」はピーシング用の模様です。

アップリケ

アップリケ押えを使用すると、きれいにぬうことが できます。

 アップリケ布は3~5mmのぬいしろを 付けて裁断します。



- 模様を選択します。
 - 「模様を選ぶ」(→P.77) を参照してくだ さい。





6 プーリーを手前に回し、アップリケ布の 端から少し外側に針が刺さるようにして ぬい始めます。





急な角度をぬうときは、アップリケ布の 外側に針を刺したまま、押えを上げて少 しずつ方向を変えながらぬいます。






 ぬい合わせる布地のぬいしろに沿って、 しつけまたはまち針で留めます。



● 「押えを交換する」(→P.48) を参照して ください。



(3)

模様 3 🗄 を選択します。

4 布地の奥の端を押えの印に、押えの先端の細い部分の右端を布地の右端に、それぞれそろえます。



押えの先端の細い部分の左端を布地の目 安になる線にそろえると、1/8 インチ (約3.2mm)のぬいしろでぬうことがで きます。



- 5 ぬい始めます。
- 6 押えの先端の印が布地の手前の端まできたら、ミシンをストップさせます。





キルティング 注意 表布と裏布の間にキルト綿をはさんでぬい合わせる ● ネジは付属のドライバーで確 ことを、「キルティング」といいます。ウォーキング 実にしめてください。ネジの フットやキルターを使用すると、きれいにぬうこと ができます。 しめ方がゆるいと、針が押え に当たり、折れたり曲がった りするおそれがあります。 ● 必ず、ぬう前にプーリーを ゆっくりと手前に回し、針が 押えに当たらないことを確認 キルティングする布地をしつけで留めます。 してください。 針が折れたり 曲がったりするおそれがあり ます。 押えと押えホルダーを取り外します。 ●「押えホルダーを取り外す」(→P.50)を 参照してください。 模様を選択します。 ● 「模様を選ぶ」 (→P.77) を参照してくだ さい。 3 ウォーキングフットのレバーのふたまた 部分で、針の留めネジの棒をはさみます。 6 押えの両側に手を置き、布地をしっかり と張ってぬいます。 針の留めネジ 押えレバーを下げ、押えホルダーのネジ を差し込んで、ドライバーでしめます。 お願い ウォーキングフットを使用するときは、速さを ゆっくり~中速でぬってください。 キルティングをするときは、14番の針を使用し てください。 押えホルダーのネジ ウォーキングフットが取り付けられます。

■ キルターを使う キルターを使用すると、ぬい目を平行にそろえ て等間隔にぬうことができます。

0



- りォーキングフットまたは押えホルダーの穴に、キルターの棒を差し込みます。
 - ウォーキングフット



押えホルダー







フリーモーションキルト

フリーモーションキルトをするときは、送り歯を下 げて(ドロップフィード)布地が自由に動かせるよ うにします。

フリーモーションキルトをするときは、キルト押え を使用します。





- ●「押えホルダーを取り外す」(→P.50)を 参照してください。
- 2 キルト押えを押えホルダーのネジにはめます。

キルト押えの棒が、針の留めネジの棒の 上になるようにします。







₩≔ ₩35

1

丈夫にしたいところをぬう

そでぐりや股ぐりなどのぬい目を丈夫にしたり、ポケットロなどのあき止まり部分を補強するときに使 用します。

夕称 増料		用涂		振り幅	ຜເ	い目の長さ	加ラ	
1	1751.1K		自動	手動	自動	手動	172	
三重ぬい 4 ほう そでや股下などのぬい目を丈夫にする		0.0	0.0~7.0	2.5	1.5~4.0	J		
かんどめ	⁶⁰	ポケットロなどのあき止まりの補強	2.0	1.0~3.0	0.4	0.3~1.0		
<i>Fī</i> _−>, <i>F</i> ī	58	普通地のつくろいぬい	7.0	25-70	2.0	0.425	A	
ターニンク	59	厚地のつくろいぬい	7.0	2.0 97.0	2.0	0.4**2.0		

三重ぬい

そでぐりや股ぐりなど、ぬい目を丈夫にしたいところをぬうときに使用します。



● 「押えを交換する」(→P.48) を参照して ください。

]0	



●「模様を選ぶ」(→P.77)を参照してください。





●「ミシンをスタートさせる」(→P.58)を 参照してください。

かんどめ

かんどめは、ポケットロやあき止まりなど、力のかか る部分を補強するときに使用します。

ここでは、ポケットロにかんどめをする場合を例に 説明します。





かんどめの長さを決めます。

ボタン穴かがり押え<A>の押えスケール の目盛り(1 目盛り 5mm)を合わせて、 長さを決めます。



> お知らせ

● 最大約 28mm のかんどめができます。



●「押えを交換する」(→P.48)を参照して ください。

- 3 模様 ∞ 📱 を選択します。
 - ●「模様を選ぶ」(→P.77)を参照してください。



4 ポケットロが手前になる向きに布地を置き、ポケットロより 2mm 手前に針が刺さる位置で押えを下げます。



上糸は押えの穴から押えの下に通してお きます。





つくろいぬい(ダーニング)

布地がやぶれたときなどに、つくろいぬいをします。 ダーニングは、次の順でぬっていきます。



1 つくろいぬいをする長さを決めます。

ボタン穴かがり押え<A>の押えスケール の目盛り(1 目盛り 5mm)を合わせて、 長さを決めます。





- **2** ボタン穴かがり押え<A>を取り付けます。
 - ●「押えを交換する」(→P.48)を参照して ください。
- 3 模様 ⁵໊ 🎆 または ⁵໊ 📕 を選択します。
 - ●「模様を選ぶ」(→P.77)を参照してください。



4 やぶれた箇所から 2mm 手前に針が刺さ るように布地を置き、押えを下げます。	5 ミシン本体のボタン穴かがりレバーを 一番下まで引き下げます。
やぶれた箇所 2mm	
上糸は押えの穴から押えの下に通してお きます。	ボタン穴かがりレバー ボタン穴かがりレバーが、押えの突起部 の後ろ側になるようにします。
 ・ 押えを下げるときに、押えの手前部分を押さないでください。ダーニングを正確な大きさにぬえません。 	ボタン穴かがりレバー マレン 安起
	 5 左手で上糸を軽く持ち、ミシンをスター トさせます。 ごびつつつつつつつつつつつつつつつつつつつつつつつつつつつつつつつつつつつつ
	トップします。 7 糸を切り、押えを上げて布地を取り出し ます。
	8 ボタン穴かがりレバーをもとに戻します。
	 ● 厚地などで布地が進まないときは、ぬい目を長く (ぬい目をあらく)します。「ぬい目の長さを調節 する」(→P.65)を参照してください。

はとめ穴を作る

ベルトの穴などに使用するはとめ穴(アイレット)を作ります。7mm・6mm・5mmの大きさのはとめ穴ができます。

名称 模様	用途		振り幅 手動	ぬい 自動	目の長さ 手動	押え	
アイレット 62 〇 ベルト	~の穴かがりなど	7.0	7.0/6.0 /5.0	7.0	7.0/6.0 /5.0	N	
 ・ ・ ・	0付けます。 48) を参照して	4 ぬい始めの を下げます	D位置に釘 す。	計を束	りし、押え	ミレノ	۳—
2 模様 62 0 を選択します。			0 + *	AMME			
●「模様を選ぶ」(→P.77) さい。	を参照してくだ	 ● ぬい終 トップ 	スタート る そわると、目 します。	させま 自動的(きす。 に止めぬい	をして	てス
◯ ◯ =	[<u>A]N</u> 62/71 ≈4.0	6 付属のはと 布地の下に	とめ穴パン 二厚紙など	・チで ! を敷し	穴をあけ いて穴をあ	ます 。 うけま	す。
ジグザグの振り幅、またしのいずれかを調節して、気がします。	はぬい目の長さ 穴の大きさを選	_	P	Ĵ			
●「ぬい目を調節する」(→ てください。 7mm 6mm 5	P.64)を参照し mm	1					
		 お知らせ 細い糸でぬう ます。その場 きあがります 	と、ぬい目が 合は、重ね ⁻	があら [、] て2回(くなること ぬうときれ	があり いにて)

横送り(直線・ジグザグ)

でき上がったそでやズボンなどの筒状の布地に、ワッペンをつけるときなどに使用します。

名称	模様	用途	振り幅	ぬい目の長さ	押え
68 ← そでやズボン (左向き直線)		そでやズボンのすそのワッペンつけ (左向き直線)	_	_	
頃たり直板	(4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)			_	N
構送りジグザグ	70 ↓	そでやズボンのすそのワッペンつけ (左向きジグザグ)	_	_	
	71	そでやズボンのすそのワッペンつけ (右向きジグザグ)	_	_	

筒状の布地をフリーアームに通し、図のようにぬい ます。



- 1 補助テーブルを左へ引いて取り外します。
 - ●「フリーアームにする」(→ P.51)を参照 してください。
 - 2 模様ぬい押え <N> を取り付けます。
 - 「押えを交換する」(→P.48) を参照して ください。



3 模様 📳 を選択します。

● 「模様を選ぶ」 (→P.77) を参照してくだ さい。



4 ぬい始めの位置に針をさし、1をぬいます。







6 模様 ┆ 📗 を選択し、3 をぬいます。





布地が横に動きます。ずれないように手を 添えてぬってください。





● ジグザグも同様にぬいます。

飾りぬいをする

いろいろな飾りぬいができます。



夕称	措样	用注		振り幅	ぬい	い目の長さ	ᄪᅎ
1⊐170 [.]	175138	用述	自動	手動	自動	手動	JT72
35 36	³⁵ 8		4.0	0.0~7.0	3.0	2.0~4.0	J
	36				2.5	1.0~4.0	
Ell J G G G	37		5.5		1.6	1.0~4.0	
	38 2		5.0	1.5~7.0	1.0	0.2~4.0	N

ファゴティング

布地と布地の間を離して糸でかがるぬい方を「ファゴ ティング」といいます。ブラウスや子供服などに使用 します。太い糸を使用するときれいに仕上がります。



2 ハトロン紙などの薄い紙に4mmの間隔 をあけて、布地をしつけします。

> ハトロン紙の中央に線を書いておくとぬ いやすくなります。





● 「押えを交換する」(→P.48) を参照して ください。

()0	I.	J	ſ
	-	Ŧ	L- Z
	ſ	Ŧ	2

- 4 模様 ² 🕅 または ³ 🕅 を選択します。
 - ●「模様を選ぶ」(→P.77)を参照してください。



- 5 ジグザグの振り幅を7mmに設定します。
 - ●「模様の幅を調節する」(→P.64)を参照 してください。
- 6 押えの中心を布地と布地の中心に合わせ てぬいます。



<mark>了</mark> ぬい終わったら、紙をやぶって取り除き ます。

スカラップ

貝殻を並べたような連続した波形の模様を「スカ ラップ」といいます。ブラウスの衿やハンカチのふ ち飾りなどに使用します。



模様ぬい押え <N> を取り付けます。

● 「押えを交換する」(→P.48) を参照して ください。





●「模様を選ぶ」(→P.77)を参照してください。







⊳ お知らせ

● ぬう前に布地にアイロン用スプレーのりをかけておくと、きれいに仕上がります。

🕨 ぬい目に沿って布端を切ります。

糸を切らないように注意してください。



スモッキング

ギャザーの上に模様や刺しゅうをした飾りぬいのこ とを「スモッキング」といいます。ブラウスの胸も とやそで口の飾りなどに使用します。



● 「押えを交換する」(→P.48) を参照して ください。

()0	1. _	J	
	ſ	Ŧ	₽

2 直線を選択し、ぬい目の長さを4.0mm、 上糸調子を弱めにします。

下糸は上に引き出しておきます。

●「ぬい目の長さを調節する」(→P.65)、 「糸調子を調節する」(→P.65)、「下糸を 引き出してからぬう」(→P.44)を参照し てください。











5 模様³¹ ⊗ または³² ⊗ 、³³ ⊗ を選択します。

● 「模様を選ぶ」(→P.77) を参照してくだ さい。



6 直線ぬいの間をぬいます。







シェルタック

貝殻を並べたような連続したひだを作ることを 「シェルタック」といいます。 ふちどりや、 ブラウス の胸もと、そで口の飾りなどに使用します。薄地の 布地を使用します。



布地をバイアスに折ります。



- **2** ジグザグ押え <J> を取り付けます。
 - 「押えを交換する」 (→P.48) を参照して ください。





いろいろなぬい方





126



飾りぬいをする

「」」」を押します。 布地の織り糸を数本抜き取り、約4mm 5 1 の間隔をあけて、同様に抜き取ります。 ⋈ଝ╓┅┅┅┅┰╋╠╝╠ ·‰3.5‱2.5 4.0₩‱ ▶ /11 になり、液晶画面上部に表示された模様 4mm が反転します。 ⋈ଝ┉┉┉┉╇╠╝≫ 模様ぬい押え <N> を取り付けます。 ●「押えを交換する」(→P.48)を参照して ください。 ····3.5···-2.5 Nicco 模様が対照になるように、反対側をぬい 6 ます。 模様 42 🛛 選択します。 ● 「模様を選ぶ| (→P.77) を参照してくだ N ¶ さい。 ▲ を押し、模様の反転を解除します。 ·*******5.0 Wasse Б. ■ ドロンワーク(例2) 織り糸を抜き取った間の布地の中心をぬ 布地の織り糸を抜き取った間をぬいます。 います。 <mark>₽</mark>

いろいろな模様をぬう

アルファベット(3種類)、ひらがな/カタカナ、飾り模様、サテンステッチ、飾りサテン、クロスス テッチ、実用飾り模様がぬえます。すべて、模様ぬい押え <N> を取り付けてぬいます。

模様をきれいにぬうには

きれいに模様を仕上げるために、以下の点に注意し てください。

布地

伸びる布地や薄地、織りがあらい布地は、裏に別売の接着芯を貼るか、またはトレーシングペーパーなどの薄い紙を布地の下に敷いてぬいます。サテンステッチをぬうときは、ぬい縮みやぬい詰まりが起きることがあるので、必ず接着芯を貼ってください。

針・糸

針は、薄地・普通地・伸びる布地のときは、ブラザー 専用ゴールデン針、厚地のときは家庭用ミシン針 (HA × 1) 14番を使用します。糸は50~60番 を使用します。

試しぬい

布地の種類や厚さ、接着芯などによって模様がくず れることがあります。必ず試しぬいをしてください。 また、ぬうときには布地がずれないように、手を添 えてぬってください。





2 模様を選択します。

●「模様を選ぶ」(→P.77)を参照してください。





▶ 模様が矢印の方向にぬわれます。



⊳ お知らせ

- アルファベット・ひらがな・カタカナ・漢字の場合は、1文字ずつ自動的に止めぬいをします。
- ・ 文字以外の模様をぬうときは、あらかじめ自動止 めぬいを設定しておくと便利です。「自動で返し ぬい/止めぬいをする」(→P.66)を参照してく ださい。





模様を組み合わせる

複数の模様を組み合わせてぬうことができます。

↓ 操作パネルの[™]
(実用/文字模様キー) を押して、模様グループを選択します。







🍃 お知らせ

● この時点でぬうと、ミシンをストップさせるまで
 1つの模様がくり返されます。

3 次の模様を選択します。

グループを変更するときは、 (早)(戻る キー)を押します。模様グループを選択 してから、次の模様を選択してください。 選択した模様を取り消すときは、**削除**を押 します。最後に選択した模様が取り消さ れます。



🧧 🕄 をくり返します。





模様を選択したら、ミシンをスタートさ せます。

 NB

ぬう方向

▶ 液晶画面に表示された順番に、模様がぬわれます。





- 模様は 70 個まで組み合わせることができます。
- 実用模様は組み合わせられません。
- 複数の模様を組み合わせたときは、液晶画面に表示された模様をぬい終わると、ミシンはストップします。組み合わせた模様をくり返してぬうときは、「模様をくり返しぬう」(→P.131)を参照してください。
- 組み合わせた模様をミシンに記憶させることができます。「模様を記憶させる」(→P.136)を参照してください。



いろいろなぬい方

模様の大きさを変える

アルファベット(ゴシック体・アウトライン)とひ らがな/カタカナ、または飾り模様と飾りサテンは、 模様の大きさを大/小に切り替えることができます。 その他の模様は、大きさを切り替えることはできま せん。

1 模様を選択します。

●「模様を選ぶ」(→P.77)を参照してください。













模様の密度を変える

飾りサテンを選択した場合は、模様の密度を変える ことができます。

1 模様を選択します。

●「模様を選ぶ」(→P.77)を参照してください。









1 注意



● 密度を細かく設定すると、糸によってはぬいづまりが起こり、針が折れることがあります。

模様の長さを変える サテンステッチ1つ分の模様の長さを、5段階で変 えることができます。 1 模様を選択します。 ●「模様を選ぶ」(→P.77)を参照してくだ さい。 <u>a</u>>8 画確認 ≣ 削除 < > 記憶 設定 <u>a</u>>8 確認 削除 мł 記憶 < >

刺しゅう

設定

2 โ)3を押します。





キーを押すごとに、数字が変わります。 「〕1から「〕5の5段階から選択できます。

<u>≜</u> ₩				
[≣1	<u>[</u>]∎2	[]∋3	[]≣4	[]=5

いろいろなぬい方 いろいろな模様をぬう









確認

削除

EL-H



消去されます。

137

いろいろな模様をぬう



4 ミシンをスタートさせます。



▶ 模様が最後までぬわれると、ミシンがストッ プします。



正しくぬえなかったときは、次の手順に 従って模様を調整します。



6 操作パネルの ☞ (設定キー)を押します。



設定画面が表示されます。

模様調整たてと模様調整よこの - + + を 押して、模様を調整します。



模様がつまっているとき: 模様調整縦の・やを押します。 押すごとに表示の値が大きくなり、模様 が伸びていきます。



模様が伸びてているとき: 模様調整縦の一を押します。 押すごとに表示の値が小さくなり、模様 がつまっていきます。



模様が左にずれているとき: 模様調整横の・を押します。 押すごとに表示の値が大きくなり、模様 が右にずれていきます。



模様が右にずれているとき: 模様調整横の一を押します。 押すごとに表示の値が小さくなり、模様 が左にずれていきます。







▶ もとの画面に戻ります。

10 もう一度 の をぬって、模様を確認します。

正しくぬえるようになるまで調整します。

オリジナル模様を作る(マイイラスト機能)

マイイラスト機能を使って、オリジナルの模様を作ることができます。



イラストを入力する

マイイラストシートに描いたイラストを入力して 模様データを作成します。



模様ぬい押え <N> を取り付けます。

● 「押えを交換する」(→P.48) を参照して ください。



2 操作パネルの(素素)(実用/文字模様キー) を押して、(☆、)を選択します。



▶模様データを入力する画面が表示されます。

3 1 つ目の点を入力します。



て、セットを押します。



4 1 つ目の点と2 つ目の点の間のぬい方を 設定します。

1重ぬいにするときは、

します。

3重ぬいにするときは、

します。

を選択します。



520目の座標に点を移動させて、

セット

を押します。



6 ④ ~ ⑤ を繰り返して、残りの点を入力します。

誤って点を入力したときは、 | <u>削</u>除 を押す と、最後に入力した点が取り消されます。

入力したデータを編集するときは、 **福集** を押します。点を挿入したり、消去したり、 移動させたりすることができます。



すべての点を入力したら、□K」を押します。

(XX)	編集
11/11 ↔26‡00	
▰◚▫▾◨▥	削除
™ ₩ ™ <u>₹ット</u>	OK

▶縫製画面が表示されます。



模様データを編集するときは、**編集**を押 します。



 ● 入力した模様データは、保存してあとで呼び出す ことができます。詳細は、「模様を記憶させる」
 (→ P.136)を参照してください。
作品例

表の順番に従って、点を入力します。

\bigcirc					
点	\Leftrightarrow	1	点	\Leftrightarrow	1
1	0	0	21	38	13
2	12	0	22	35	14
3	18	3	23	32	13
4	22	6	24	30	10
5	23	10	25	32	6
6	21	13	26	35	3
7	17	14	27	41	0
8	14	13	28	45	0
9	12	11	29	47	4
10	9	13	30	44	7
11	6	14	31	45	11
12	3	13	32	47	13
13	1	10	33	50	14
14	3	6	34	54	13
15	6	3	35	56	10
16	12	0	36	55	6
17	41	0	37	51	3
18	43	4	38	45	0
19	40	7	39	70	0
20	41	11			

<u>EN</u>					
点	\Leftrightarrow	1	点	\Leftrightarrow	1
1	0	0	21	10	11
2	30	0	22	12	10
3	32	1	23	8	9
4	32	7	24	12	8
5	32	10	25	7	6
6	33	12	26	12	6
7	35	11	27	6	3
8	35	8	28	10	2
9	37	12	29	5	0
10	35	14	30	10	2
11	32	14	31	16	1
12	30	11	32	19	0
13	30	5	33	23	0
14	29	3	34	22	6
15	26	8	35	17	10
16	24	10	36	22	6
17	18	13	37	23	0
18	13	14	38	19	0
19	12	14	39	42	0
20	13	12			

\bigcirc					
点	‡	1	点	\Leftrightarrow	1
1	0	0	21	16	10
2	3	5	22	18	12
3	5	8	23	21	13
4	8	11	24	25	14
5	12	13	25	28	14
6	17	14	26	33	13
7	20	14	27	37	11
8	24	13	28	41	8
9	27	12	29	43	5
10	29	11	30	44	0
11	31	9			
12	32	6			
13	30	3			
14	27	1			
15	24	0			
16	21	0			
17	18	1			
18	16	3			
19	15	5			
20	15	8			



刺しゅう

ここでは、刺しゅうの手順を説明します。 ※ 別売りの刺しゅう機が必要です。

きれいに刺しゅうをするには	146
刺しゅう押え <q> を取り付ける</q>	149
刺しゅう機を取り付ける	
布地を用意する	
刺しゅう枠を取り付ける	
刺しゅう模様を選びましょう	
刺しゅうをしてみましょう	170
こんなとき	174
模様の記憶機能を使う	

きれいに刺しゅうをするには

ここでは、刺しゅうをする前に必要なことを説明します。 ※ 別売りの刺しゅう機が必要です。

用意するもの

刺しゅうをするときは、次のものが必要です。

布地

刺しゅうする布地を用意します。刺しゅう模様の大 きさに合わせて、刺しゅう枠より少し大きめの布地 を用意します。



薄地や伸びる布地など、ぬいにくい布地には、あらかじめブラザー専用接着芯を貼ってください。
 大きな布地に刺しゅうするときは、ミシンを置いたテーブルから布地が垂れ下がらないようにしてください。布地が垂れ下がった状態で刺しゅうすると、刺しゅう機の動きが悪くなり、模様くずれの原因となります。

注意



接着芯

ぬい縮みや模様がくずれることを防ぎ、刺しゅうを きれいに仕上げるために、布地に刺しゅう用接着芯 を貼ります。



接着芯は、別売りのブラザー専用刺しゅう用接着芯 をおすすめします。オーガンジーなどの薄い素材や、 タオルなどの起毛している布地には、水で溶ける水 溶性シートを使用してください。「別売オプション」 (→P.16)を参照してください。

刺しゅう糸

上糸は、別売りのブラザー専用刺しゅう糸(ウルト ラポス)、またはカントリー刺しゅう糸を使用してく ださい。



下糸は、別売りのブラザー専用刺しゅう下糸を使用 してください。

🅟 お知らせ

- 上記以外の糸を使用すると、刺しゅうがきれいに 仕上がらないことがあります。
- ぬい始める前に、下糸の残量を確認してください。下糸が少ない状態で刺しゅうを続けると、糸がらみなどが起きる場合があります。

針

家庭用ミシン針(HA×1)の11番を使用します。 デニム地などの厚地に刺しゅうする場合は、家庭用 ミシン針(HA×1)の14番を使用してください。

● 購入時は、11番の針がミシンに取り付けられています。 ● 針を交換するときは、「針を交換する」(→P.46)を参照してください。



ブラザーゴールデン針は、模様ぬいや伸びる布地など、目とびしやすい布地用の針です。刺しゅうぬいには絶対に使用しないでください。針が折れたり曲がったりするおそれがあります。

その他

別売オプション品として、刺しゅう枠 [LL] [S] な どを用意しています。詳細は、「別売オプション」 (→P.16)を参照してください。



 ● 刺しゅうをする場合は、別売刺しゅう機セット(モデル:ES150)をお買い求めください。刺しゅう 機セットには、次の部品が同梱されています。
 刺しゅう機
 刺しゅう枠・刺しゅうシート [M]
 刺しゅう枠・刺しゅうシート [L]

刺しゅう押え <Q> USB ケーブル 取扱説明書

刺しゅうの手順

刺しゅうをするときの基本の手順は次のとおりです。



刺しゅう押え <Q> を取り付ける

刺しゅう押え <Q>の取り付け方を説明します。 ※ オプション品です。





右手で押えホルダーを支え、左手でドラ イバーを奥に回します。



▶ 押えホルダーが押え棒から外れます。

6 図のように、右手で刺しゅう押え <Q>を 持ちます。

右手の人差し指が押えの後ろ側のレバー にかかるように持ちます。



7 刺しゅう押え <Q> のレバーを指で押しな がら、刺しゅう押え <Q> の棒が針の留め ネジの上にかかるように、刺しゅう押え <Q> を奥へ倒して押え棒に合わせます。



8 刺しゅう押え <Q> が垂直になるように、 刺しゅう押え <Q> を押えホルダーのネ ジに取り付けます。



9 押えホルダーのネジをしめます。

右手で刺しゅう押え<Q>を支え、左手で ドライバーを手前に回します。





- 刺しゅう押え <Q> を取り付 けるときは、指や押えが針に 当たらないようにしてくださ い。針が折れたり、ケガの原 因となります。
- ネジは付属のドライバーで確 実にしめてください。ネジの しめ方がゆるいと、針が押え に当たり、折れたり曲がった りするおそれがあります。
- 必ず、ぬい始める前にプー リーをゆっくりと手前に回 し、針が押えに当たらないこ とを確認してください。針が 折れたり曲がったりするおそ れがあります。



刺しゅう

刺しゅう機を取り付ける

刺しゅうをするときは、刺しゅう機を取り付けます。 ※ オプション品です。





🕤 電源を入れます。



▶ 液晶画面にメッセージが表示されます。

6 刺しゅう機の近くに手や物を置いていないことを確認し、□K」を押します。



🍃 お知らせ

- 液晶画面にアニメーションが表示されているときは、指で液晶画面に触れるとメッセージが表示されます。
 - 刺しゅう機のキャリッジが初期設定の位置へ 移動します。







布地を用意する

刺しゅうする布地に接着芯を貼ってから、刺しゅう枠に張ります。

布地に接着芯を貼る 使用する刺しゅう枠より大きめに刺しゅ う用接着芯を用意します。 ぬい縮みや模様くずれを防ぎ、刺しゅうをきれいに仕 上げるために、布地に刺しゅう用接着芯を貼ります。 Х 布地 接着芯 お知らせ 刺しゅう枠の大きさ ● 接着芯は、別売りのブラザー専用刺しゅう用接着 芯をおすすめします。オーガンジーなどの薄い素 布地の裏に接着芯の接着面をあて、ス 材や、タオルなどの起毛している布地には、水で チームアイロンをかけて貼ります。 溶ける水溶性シートを使用してください。「別売 オプション|(→P.16)を参照してください。 お願い 接着芯 布地(裏) ● 伸びる布地、薄い布地、目のあらい布地、ぬい縮 みしやすい布地には、必ず刺しゅう用接着芯を 接着面 貼ってください。 注意 お知らせ ● 刺しゅうをするときは、必ず タオルなどのアイロンがかけられない布地や、ア 刺しゅう用接着芯を使用して イロンがかけられないところに刺しゅうをすると きは、布地の下に接着芯を置いて、接着せずに刺 ください。特に、薄地や伸び しゅう枠に張ります。 る布地に接着芯を使用せずに 刺しゅうをすると、針が折れ たり曲がったりするおそれが お願い あります。また模様くずれの ● 刺しゅうが完成したら、接着芯はやぶって取り除 原因となります。 いてください。

布地を刺しゅう枠に張る

接着芯を貼った布地と刺しゅう枠を用意し、布地を 刺しゅう枠に張ります。

刺しゅう枠 [L] (別売オプション) 縦18×横13cmまでの範囲で刺しゅうができます。



刺しゅう枠 [M](別売オプション)

縦10×横10cmまでの模様を刺しゅうできます。



刺しゅう枠 [LL] (別売オプション)

縦30×横13cmまでの範囲で刺しゅうができます。 組み合わせ模様や大きな模様を刺しゅうするときに 使用します。



刺しゅう枠 [S] (別売オプション)

縦2×横6cmまでの模様を刺しゅうできます。文字などの小さな刺しゅうをするときに使用します。





● 模様によっては、刺しゅう枠 [S] が使用できな いことがあります。



 刺しゅう枠の調節ネジをゆるめて内枠を 外枠から取り外し、平らなところに置き ます。



2 接着芯を貼った布地を外枠の上に置きます。

布地の表が上になるように置きます。

● 接着芯の貼り方については、「布地に接着芯を貼る」(→P.156)を参照してください。





3 布地の上から内枠をはめます。

内枠の△と外枠の▽の印を合わせます。



4 調節ネジを軽くしめ、内枠を押さえなが ら布地の四方を引っ張ってたるみをなく します。



5 さらに布地のたるみをなくしながら、調 節ネジをしめます。

外枠の底面まで内枠をしっかりとはめ込 み、調節ネジをしめます。



■ 刺しゅうシートを使う 刺しゅうシートを使用すると、布地の正確な位 置に刺しゅうすることができます。 ※オプション品です。



布地の刺しゅうをしたい位置に、チャコ ъ ペンで印を付けます。



内枠の上に刺しゅうシートをのせます。 2



布地の印と刺しゅうシートの基準線を合 わせます。



- 4 外枠の上に布地と内枠を置き、布地を張ります。
 - 布地の張り方については、「布地を刺しゅう枠に張る」(→P.157)を参照してください。
- **5** 刺しゅうシートを取り外します。



■ 刺しゅう枠に張れない布地に刺しゅうをす るとき

刺しゅう枠に張ることができない小さい布地や、 テープのような細い布地に刺しゅうをする場合 は、接着芯を土台にして刺しゅう枠に張ります。 接着芯は、ブラザー専用接着芯をおすすめします。



刺しゅうが終わったら、 接着芯をていねいに取 り除きます。

刺しゅう・

刺しゅう枠を取り付ける

布地を張った刺しゅう枠を刺しゅう機に取り付けます。 ※刺しゅう機と刺しゅう枠はオプション品です。





刺しゅう枠を取り付ける

刺しゅう模様を選びましょう

刺しゅうする模様を選択します。 ※ 別売りの刺しゅう機が必要です。

🎄 お願い

● ミシン本体や別売りの刺しゅうカードに内蔵されている刺しゅう模様は、一般家庭用としてのみご利用いただけ ます。営利または業務目的で使用することは、著作権法上固く禁じられておりますのでご注意ください。

刺しゅう模様の種類

刺しゅう模様には、次のグループがあります。



① ブラザーワンポイント模様

くだものや動物など、70の模様があります。液 晶画面に表示される指示に従って上糸を交換しな がら刺しゅうを完成させます。模様の選び方につ いては、「ブラザーワンポイント模様/ワンポイ ント模様」(→P.167)を参照してください。

② ワンポイント模様

くだものや動物、文字など66の模様があります。 液晶画面に表示される指示に従って上糸を交換し ながら刺しゅうを完成させます。模様の選び方に ついては、「ブラザーワンポイント模様/ワンポ イント模様」(→ P.167)を参照してください。

③ アルファベット(3書体)

大文字/小文字/数字/記号(11文字)/ヨー ロッパ文字があります。連続して18文字まで選 択することができます。模様の選び方について は、「文字模様を選ぶ」(→P.164)を参照して ください。

かな(ゴシック体/明朝体/丸文字)

ひらがな/カタカナ/漢字(38文字)/数字/ 記号(7文字)があります。連続して18文字ま で選択することができます。模様の選び方につ いては、「文字模様を選ぶ」(→P.164)を参照 してください。

④ 枠模様

四角や円などの10種類の形と、12種類のス テッチを組み合わせることができます。模様の 選び方については、「枠模様を選ぶ」(→P.167) を参照してください。

⑤ 刺しゅうカード

別売りの刺しゅうカードの模様を刺しゅうする ときに押します。模様の選び方については、「刺 しゅうカードを使う」(→P.168)を参照してく ださい。

⑥ ミシンに記憶させた模様の呼び出し

よく使用する文字の組み合わせなどの模様を ミシンに記憶させて、あとで呼び出して刺 しゅうすることができます。12組までの模様を 記憶させることができます。記憶のさせ方と呼 び出し方については、「模様を記憶させる」 (→P.182)、「模様を呼び出す」(→P.182)を 参照してください。

⑦ パソコンからの模様の呼び出し

パソコンから模様を呼び出して刺しゅうすることができます。模様の呼び出し方については、「パソコンから模様を呼び出す」(→P.183)を参照してください。

液晶画面の操作

操作パネルの操作キーを使用しながら、液晶画面を 操作します。

ここでは、刺しゅうをするときのキーの使い方を説 明します。





- 1つ前の画面に戻ります。
- 、 、 液晶画面に表示されていない模様があ るとき (< または > が表示されて いるとき)に、前候補/次候補を表示 します。
- 刺しゅう模様グループを選択する画面 刺しゅう に戻ります。選択していた模様は取り 消されます。
- 刺しゅうの色替の糸色表示を切り替え 設定 るときや、糸調子や最高速度を変更す るときに押します。



ブラザー刺しゅう糸:	ウルトラポスの色番号
カントリー糸:	カントリー糸の色番号
時間:	刺しゅうに必要な時間
針数:	針が進んだ数
糸色名:	一般的な色の名称
刺しゅう糸調子:	糸調子を-8から+8の範囲

で調節します。 最高速度を650SPM(速 刺しゅう最高速度: い) または350SPM (ゆっ くり)の間で切り替えます。 ■ 液晶画面のキー

	<u>LiO∞ c o m e 削除</u>
	a b c d e f 確認
	g h i j k I 🛲
	mn Aabt moot
2245万	
PEOK	ことができます。 ここので表示
	を切り替えます。
	1/1
	Welc
‱×	目動糸切りや糸調子などの糸の設定を
	<u>LO∷come</u> ∭®
	<u> </u>
	▶ 自動糸切りを設定/解除しま
	す。設定されているときは反
	転表示されます。
	∞
	₩₩ - で糸密度を調節します。
	(文字模様と枠模様のみ)
र्ग क	刺しょうのしかたを恐空したり 増祥
这里	刺しゆうのしかにを設たしたり、候様のレイアウトを調整したりするときに
	押します。
	『い " 900 () () () ()
	1/1 確認
	Welc
	11701
色替	乂子模様を 乂子ずつ色を替えて刺 」 ゅうする ときに押します ↓ 文字割
	しゅうするごとに浮します。「又子炯 しゅうするごとにミシンがストップ」。
	ます。色替が設定されているときは反

転表示されます。

刺しゅう



ぬい目を戻したり進めたりします。特定の 糸色のみ刺しゅうしないときや、ミシンの 電源を切ったあと、途中から再開するとき に使用します。詳細は、「刺しゅうし直した いとき」(→ P.176)で説明します。





① 1 針進む(押したままにすると、
 9 針→ 30 針ずつ進みます。)

*ሀ*ፖሳት

刺しゅう枠内の模様の位置を確認したり、 模様の大きさや角度を変更したりします。 詳細は、「レイアウトを調節する」 (→P.174)で説明します。







🅟 お知らせ

確認

 ● 液晶画面のキーが点線で表示されているとき (例: 」
 (例: 」
 (例: 」
 (1) は、その機能は使用できません。

文字模様を選ぶ

刺しゅうする文字を選択します。

お知らせ

- ●「模様が枠からはみだします。」と表示されたときは、それ以上文字を選択することはできません。
- 異なるグループ(アルファベットとかな、ゴシック体と明朝体など)の文字を組み合わせることはできません。

を押します。

	Ŵ	АВ ಹು	C-0
ł	Ċ	F	+0
実用 文字描様	く 刺しゅう	> 設定	記憶 使い方



2 文字グループを選択します。





🕄 文字を選択します。

誤って文字を選択したときは、 削除 を押 します。

[例]「Welcome」を選択する場合



大文字/小文字切り替え 大/中/小切り替え





	IS T IYZ a t #	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
実用 刺しゆう	> 設定	記憶 使い方







166





▶ 縫製画面が表示されます。



枠模様を選ぶ

お知らせ

四角や円などの10種類の形と、12種類のステッチ を組み合わせることができます。

 やの形とステッチについては、操作早見表の「刺しゅう模様一覧」(→P.20)を参照してください。





[▶] 枠の形の選択画面が表示されます。

刺しゅう模様を選びましょう



枠の形を選択します。

(前ページキー) > (次ページキー) で画面を切り替えて、10 種類の中から 選択します。





▶ 枠のステッチの選択画面が表示されます。



(前ページキー) > (次ページキー) で画面を切り替えて、12 種類の中から 選択します。



▶ 縫製画面が表示されます。





ミシン本体に内蔵されている模様以外に、別売りの 刺しゅうカードの模様を刺しゅうすることができま す。刺しゅうカードには、テーマ別にいろいろな模 様があります。



※お願い

- 刺しゅうカードは、必ず電源を切って抜き差ししてください。
- 刺しゅうカードは、刺しゅうカード差し込み口に 正しい方向に差し込んでください。
- 刺しゅうカード差し込み口に、刺しゅうカード以外のものを入れないでください。
- 刺しゅうカードを使用しないときは、収納ケース に入れて保管してください。
- 当社の刺しゅうカード以外のカードを使用する と、ミシンが誤作動するおそれがあります。必ず、 当社正規の刺しゅうカードを使用してください。
- 外国で販売されている刺しゅうカードは使用できません。
- 刺しゅうカードに内蔵されている大きな模様は、 液晶画面で見にくい場合があります。ご了承くだ さい。
- 1 電源を切ります。





۰

< ٦

刺しゅう

設定

記憶

使いた

漢字カードに添付されている文字コード表を参 照して、4桁の数字(文字コード)を入力します。

刺しゅうする漢字の文字コードを入力し





誤って数字を入力したときは、 削除 を押

▶入力した文字コードの漢字が表示されます。





刺しゅうをしてみましょう

準備ができたら刺しゅうしてみましょう。ここでは、ワンポイント模様の場合を例に説明します。 ※ 別売りの刺しゅう機が必要です。





[例] 糸色名で表示する場合





- 2 刺しゅう糸をセットし、針に糸を通します。
 - ●「上糸を通す」(→P.37)を参照してください。





アップリケをする

土台になる布地とアップリケをする布地(アップリ ケピース)を用意します。 ☞ (設定キー)を押して 糸色表示を糸色名に設定すると、液晶画面に「アッ プリケピース」、「アップリケノイチ」、「アップリケ」 と表示されます。





液晶画面に「アップリケピース」と表示されます。

- アップリケピースの布地の裏に接着芯を 貼り、布地を刺しゅう枠に張ります。
- 3 押えレバーを下げ、⑥(スタート/ストッ プスイッチ)を押します。



アップリケピースの切り取り位置をぬって、 ミシンがストップします。液晶画面に「アッ プリケノイチ」と表示されます。



4 布地を刺しゅう枠から取り外し、ぬい目 に沿って切り取ります。

ぬい目の上をていねいに切り、糸を取り 除きます。



- 5) 土台になる布地を刺しゅう枠に張ります。
- 6 アップリケをぬう糸をセットします。
- <mark>フ</mark>押えレバーを下げ、 (スタート/ストッ プスイッチ)を押します。



アップリケの位置をぬって、ミシンがストッ プします。液晶画面に「アップリケ」と表示 されます。





刺しゅうをしてみましょう

こんなとき

ここでは、模様のレイアウト調整のしかたや他の便利な機能を説明します。 ※ 別売りの刺しゅう機が必要です。





こんなとき

糸調子を調節する

刺しゅうを失敗すると、糸をほどくことが難しく、 布地をいためることがあります。刺しゅうを始める 前に、同じ布地のはぎれを使用して糸調子などを確 認してください。

糸調子を変更するときは、 設定(設定キー)を押します。



●を押すと、上糸の調子が弱くなります。

●を押すと、上糸の調子が強くなります。

正しい糸調子

布地の裏に上糸が少し見えます。



上糸が強いとき

布地の表に下糸が見えている場合は、上糸を弱くし ます。



上糸が弱いとき

上糸がたるんでいる場合は、上糸を強くします。







上糸の色を誤って刺しゅうしたときは、正しい色の 上糸をセットして刺しゅうし直します。



2 変更を押します。





(_ 019				
2/4		確認		
్లిం	2	174		
فع	٩٢ -	[17]h		





5 正しい色の上糸をセットし、
⁽⁽⁾⁾(スタート /ストップスイッチ)を押して刺しゅう します。



₩127/3464

ക

ھە

刺しゅうを中断するとき

刺しゅうを中断するときは、電源を切る前に現在の 針数を確認しておきます。



- 1 ◎ (スタート/ストップスイッチ)を押してミシンをストップさせます。
 - 液晶画面に表示されている現在の針数を 控えます。



針数が表示されていないときは、 ⊮≢(設 定キー)を押して表示を切り替えます。 ●(戻るキー)を押すと、もとの画面に 戻ります。










中断したところより10針ほど前まで針 数を進めます。



11 刺しゅうを再開します。

こんなとき

模様の記憶機能を使う

よく使用する模様をミシンに記憶させたり、呼び出して刺しゅうしたりすることができます。また、パ ソコンから模様データを呼び出して刺しゅうすることもできます。 ※別売りの刺しゅう機が必要です。

■ 刺しゅうデータに関する注意

このミシンで作成・記憶させたデータ以外の刺しゅうデータを扱うときは、次の点に注意してください。

使用可能な刺しゅうデータの種類

- このミシンで扱える刺しゅうデータは、.pen、.pes、.dstファイルのみです。.penファイルはコピー防止機能付きの刺しゅうデータ、.pesファイルは当社正規のデータ作成装置(刺しゅう PRO など)で作成された刺しゅうデータです。
- ・当社正規のデータ作成装置またはミシンで作成された模様以外のデータを扱うと、ミシンが誤作動するおそれがあります。
- .penファイルについては、当社インターネットの刺しゅうデータダウンロードサイト「ハートステッチズ」(http://www.heartstitches.com)で今後掲載される情報をご参照ください。

タジマフォーマット (.dst) の刺しゅうデータについて

- .dstデータは、模様一覧画面にファイル名で表示されます。(実際の絵柄は表示されません。)
 ファイル名は、8文字までのアルファベット・数字で表示されます。
- · タジマフォーマット(.dst)には、模様の色情報がありませんので、どの模様を選択しても当社指定の糸色順で表示されます。

使用可能なパソコンの種類と OS

- パソコンの種類 USB ポート標準装備の IBM-PC またはその互換機
- ・ 対応 OS

Microsoft Windows 98SE/Me/2000/XP

※ Windows 98SEを使用する場合、パソコンヘドライバのインストールが必要です。ドライバはブラ ザー工業のホームページ(http://www.brother.co.jp)よりダウンロードしてください。なお、 「Second Edition」の場合のみ、ドライバをご利用いただけます。

パソコンで作成・保存するときの注意

- 刺しゅうデータのファイル名に、特殊記号等を使用すると識別できずに模様が表示されないことがあります。その場合は、ファイル名を変更してください。
- ·縦 30cm×横 13cmより大きな刺しゅうデータは扱うことができません。
- ・ 針数、色数の制限を越えて保存した.pesファイルは使用できません。当社正規のデータ作成装置で、 制限内の模様に修正してご使用ください。
- ・ リムーバブルディスクにはフォルダを作成しないでください。フォルダを作成し、フォルダ内に刺しゅ うデータを保存した場合、ミシンで模様データを表示することはできません。
- 刺しゅう PRO などで作成した模様データは、作成時に選択した糸ブランドを変更することはできません。

🍃 お知らせ

●本取扱説明書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。ただし、本文中には [®]および™等のマークは明記しておりません。



▶ ミシンに記憶させた模様が表示されます。



パソコンで「マイコンピュータ」を開き、 「リムーバブルディスク」を選択します。







「リムーバブルディスク」内の模様データが
 ミシンに書き込まれます。

🄆 お願い

- データ書き込み中はUSBケーブルを抜かないで ください。
- 「リムーバブルディスク」にフォルダを作成しないでください。フォルダは表示されませんので、フォルダ内の模様データは呼び出すことができません。

模様の記憶機能を使う

刺しゅう





▶ 模様が反転表示されます。





▶ 模様が呼び出され、縫製画面が表示されます。

7 必要に応じて模様を調整してから、刺 しゅうします。

Co :: 20:	9	
1/10		
•	~	

お知らせ

 リムーバブルディスクにコピーした模様数が13 個以上の場合は、ミシンの液晶画面に模様は表示 されず、「12模様までしか扱えません。模様を減 らしてください。」というエラーメッセージが表 示されます。その場合は、パソコン上でリムーバ ブルディスクの模様を削除して、12個以下にし てください。その後エラーメッセージを閉じ、
 (4)に戻ってを押してから模様を呼び出して ください。



ここでは、ミシンのお手入れ方法と困ったときの対処方法などを紹介します。

お手入れ	
困ったとき	
アップグレードの方法	
本体仕様	
さくいん	

お手入れ

簡単なミシンのお手入れ方法を説明します。



内かま



付録

困ったとき

ミシンが思いどおりに動かないときは、修理を依頼する前に次の項目を確認してください。 それでも改善されない場合は、お買い上げの販売店、または「お客様相談室(ミシン119番)」(フリー ダイヤル0120-340-233)にご相談ください。

こんなとき	原因	対処	参照ページ
	電源が入っていない。	電源を入れます。	P. 25
	スタート/ストップスイッチを押してい ない。	スタート/ストップスイッチを押しま す。	P. 58
ミシンが動かない	押えレバーが上がっている。	押えレバーを下げます。	P. 57
~))13 到13 -060 -	フットコントローラーを接続した状態 で、スタート/ストップスイッチを押し ている。	フットコントローラーを接続していると きは、スタート/ストップスイッチは使 用できません。スタート/ストップス イッチを使用する場合は、フットコント ローラーを取り外します。	P. 58
	針が正しく取り付けられていない。	針を正しく取り付けます。	P. 46
	針の留めネジがゆるんでいる。	ドライバーで留めネジをしっかりしめま す。	P. 47
	針が曲がっている。針先がつぶれてい る。	新しい針に交換します。	P. 46
	針が布地や糸に合っていない。	布地に合った糸と針を使用します。	P. 45
	模様に合った押えを使用していない。	模様に合った押えを取り付けます。	P. 48
	上糸調子が強すぎる。	上糸調子を弱くします。	P. 65
	布地を無理に引っ張っている。	布地は軽く押さえます。	_
針が折れる	糸こまや糸こま押えが正しく取り付けら れていない。	糸こまと糸こま押えを正しく取り付けます。	P. 38
	針板の穴の周囲にキズがある。	針板を交換します。 お買い上げの販売店、または「お客様 相談室(ミシン119番)」(フリーダイヤ ル0120-340-233)にご相談ください。	_
	押えの穴の周辺にキズがある。	押えを交換します。 お買い上げの販売店、または「お客様 相談室(ミシン119番)」(フリーダイヤ ル0120-340-233)にご相談ください。	_
	内かまにキズがある。	内かまを交換します。 お買い上げの販売店、または「お客様 相談室(ミシン119番)」(フリーダイヤ ル0120-340-233)にご相談ください。	_
	本製品純正のボビンを使用していない。	本製品純正のボビンを使用してください。	P. 31
上糸が切れる	糸こまが正しくセットされていない。 糸こま押えの大きさが合っていない。 針棒糸かけから糸が外れている。	上糸を正しくセットします。	P. 37
	糸に結び目やこぶがある。	その部分を取り除きます。	_

こんなとき	原因	対処	参照ページ
	針が糸に合っていない。	糸に合った針を使用します。	P. 45
	上糸調子が強すぎる。	上糸調子を弱くします。	P. 65
	糸がからまって、かまなどに詰まって いる。	からんだ糸を取り除きます。かまに詰 まっていた場合は、掃除します。	P. 186
	針が曲がっている。針先がつぶれてい る。	新しい針に交換します。	P. 46
	針が正しく取り付けられていない。	針を正しく取り付けます。	
上糸が切れる	針板の穴の周囲にキズがある。	針板を交換します。 お買い上げの販売店、または「お客様 相談室(ミシン119番)」(フリーダイヤ ル0120-340-233)にご相談ください。	_
	押えの穴の周辺にキズがある。	押えを交換します。 お買い上げの販売店、または「お客様 相談室(ミシン119番)」(フリーダイヤ ル0120-340-233)にご相談ください。	_
	内かまにキズがある。	内かまを交換します。 お買い上げの販売店、または「お客様 相談室(ミシン119番)」(フリーダイヤ ル0120-340-233)にご相談ください。	_
	本製品純正のボビンを使用していない。	本製品純正のボビンを使用してください。	P. 31
下糸がボビンに	引き出した糸を正しく巻き付けていな い。	引き出した糸は、時計回りに4~5回ボ ビンに巻き付けます。	P. 33
きれいに巻けない	ボビンの回転が遅い。	スピードコントロールレバーを「はや く」にします。	P. 34
	下糸のセットがまちがっている。	下糸を正しくセットします。	P. 35
下名がわらまる	ボビンにキズがあり、回転がなめらかで ない。	ボビンを交換します。	_
下糸が切れる	糸がからまっている。	からんだ糸を取り除き、かまを掃除 します。	P. 186
	本製品純正のボビンを使用していない。	本製品純正のボビンを使用してください。	P. 31
	上糸のセットがまちがっている。	上糸を正しくセットします。	P. 37
	下糸のセットがまちがっている。	下糸を正しくセットします。	P. 35
	布地に糸や針が合っていない。	布地に合った糸と針を使用します。	P. 45
糸調子が合わない	押えホルダーが正しく取り付けられてい ない。	押えホルダーを正しく取り付けます。	P. 50
	糸調子が合っていない。	糸調子を調節します。	P. 65
	本製品純正のボビンを使用していない。	本製品純正のボビンを使用してください。	P. 31

こんなとき	原因	対処	参照ページ
	上糸または下糸のセットがまちがってい る。	上糸、下糸を正しくセットします。	P. 35 P. 37
	糸こまが正しく取り付けられていない。	糸こまを正しく取り付けます。	P. 38
	布地に糸や針が合っていない。	布地に合った糸と針を使用します。	P. 45
布地にしわがよる	針が曲がっている。針先がつぶれてい る。	新しい針に交換します。	P. 46
	薄地の場合に、ぬい目があらすぎる。	ぬい目を細かくします。または布地の下 にハトロン紙などを敷いてぬいます。	P. 65 P. 72
	糸調子が合っていない。	糸調子を調節します。	P. 65
	上糸のセットがまちがっている。	上糸を正しくセットします。	P. 37
	布地に糸や針が合っていない。	布地に合った糸と針を使用します。	P. 45
ぬい目がとぶ	針が曲がっている。針先がつぶれてい る。		P. 46
	針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付けます。	
		針板ふたを取り外してかまを掃除します。	P. 186
	送り歯やかまにほこりがたまっている。	かまを掃除します。	
	上糸のセットがまちがっている。	上糸を正しくセットします。	P. 37
ぬっているときの 音が高い ガタガタと音が する	内かまにキズがある。	内かまを交換します。 お買い上げの販売店、または「お客様 相談室(ミシン119番)」(フリーダイヤ ル0120-340-233)にご相談ください。	_
	本製品純正のボビンを使用していない。	本製品純正のボビンを使用してください。	P. 31
針穴に糸が通ら	針が正しい位置にない。	針上下スイッチで針を上げます。	P. 37
ない	針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付けます。	P. 46
	模様に合った押えを使用していない。	模様に合った押えを取り付けます。	P. 48
模様がきれいに	糸調子が合っていない。	糸調子を調節します。	P. 65
@Z/U1	糸がからまって、かまなどに詰まって いる。	からんだ糸を取り除きます。かまに詰 まっていた場合は、掃除します。	P. 186
	送り歯が下がっている。	ドロップレバーを左に動かします。	P. 111
	ぬい目が細かすぎる。	ぬい目の長さを長くします。	P. 65
布地を送らない	模様に合った押えを使用していない。	模様に合った押えを取り付けます。	P. 48
	糸がからまって、かまなどに詰まって いる。	からんだ糸を取り除きます。かまに詰 まっていた場合は、掃除します。	P. 186
ランプが	ランプが故障した。	お買い上げの販売店、または「お客様 相談室(ミシン119番)」(フリーダイヤ ル0120-340-233)にご相談ください。	_
	電源が入っていない。	電源を入れます。	P. 25
液晶画面に何も 表示されない	液晶画面の明るさが明るすぎる、または 暗すぎる。	液晶画面の明るさを調整します。	P. 195

こんなとき	原因	対処	参照ページ
スイッチを押して も動かない	液晶画面にアニメーションが表示されて いる。	液晶画面に指で触れてアニメーションを 消去します。	P. 26
刺しゅうキーを 押しても動かない	刺しゅう機が取り付けられていない。	刺しゅう機を取り付けます。 別売りの刺しゅう機をお買い求めください。	P. 152
	模様を選択していない。	模様を選択します。	P. 162
対しゆう機が動か ない	刺しゅう機が正しくセットされていな い。	刺しゅう機を正しくセットします。	P. 152
刺しゅう機が取り 付けられない	刺しゅう機差し込み口のふたが閉まって いる。	刺しゅう機差し込み口のふたのつまみに 指をかけて、ふたを開けます。	P. 153
	刺しゅう枠に布地がきちんと張られてい ない。布地の張り方がゆるい。	刺しゅう枠に布地を正しく張ります。	P. 157
	接着芯を貼っていない。	伸びる布地、薄い布地、目のあらい布 地、ぬい縮みしやすい布地には、必ず刺 しゅう用接着芯を貼ってください。	P. 156
	糸がからまって、かまなどに詰まって いる。	からんだ糸を取り除きます。かまに詰 まっていた場合は、掃除します。	P. 186
	糸調子が合っていない。	糸調子を調節します。	P. 65
きれいに	キャリッジや刺しゅう枠の周辺にものが 置いてある。	刺しゅう機のキャリッジや刺しゅう枠が ものにぶつかると、模様がくずれます。 刺しゅう枠が動く範囲には、ものを置か ないようにしてください。	P. 154
刺しゅうできない	刺しゅう枠からはみ出した布地が、じゃまになっている。	刺しゅう枠からはみ出した布地がじゃま にならないように布地を張り替え、模様 を回転させて刺しゅうをします。	_
	重たい衣類に刺しゅうしていて、テーブ ルから布地が垂れ下がっている。	布地がテーブルから垂れ下がった状態で 刺しゅうをすると、刺しゅう機の動きが 悪くなります。布地が垂れ下がらないよ うにしてください。	_
	布地がひっかかっている。はさみ込まれ ている。	ミシンをストップさせて、布地を正しい 状態にします。	_
	刺しゅうの途中で、刺しゅう枠を取り外 したり取り付けたりしたときに、キャリ ッジを動かした。	途中でキャリッジを動かすと、模様くず れの原因となります。刺しゅう枠を取り 外したり取り付けたりするときは、注意 してください。	_

液晶画面のメッセージ表示

誤った操作をしたときのメッセージや操作のアドバイスが、液晶画面に表示されます。表示された内容に従っ てください。

表示	原因
▲説明書の丘ラ ーメッセージ をみてくださ 閉じるい。	上糸がかまにからんだ、針が曲がって針板に当たったなどでミシンが停止した (→P.188参照)
① 上糸が切れて いないか確か めてください。 閉じる	上糸が切れた 上糸が正しくセットされていない 上糸がなくなった
① 押えレバーを 上げてくださ い。	押えが下がった状態で、刺しゅう機の初期設定を行おうとした
① 押えレバーを 下げてくださ い。 閉じる	押えが上がった状態で、スタート/ストップスイッチ・返しぬいスイッチ・ 糸切りスイッチのいずれかを押した
記憶中	模様の記憶中
① このカードは 使用できませ ん。 閉じる	本製品で使用できない模様カードをセットして、カードの模様を選択しよう とした
① この画面では ぬえません。 閉じる	縫製画面以外で、スタート/ストップスイッチまたは返しぬいスイッチを押 した
 ① この模様は使えません。 (閉じる) 	このミシンで使用できない模様を選択しようとした
① これ以上組合 せできません。 「閉じる」	19文字以上の文字を組み合わせようとした
 ① 刺しゅうカー ドを入れてく ださい。 【閉 ^{じる} 】	刺しゅうカードがセットされていないときに、液晶画面の
① 刺しゅう機が ついていない 時には使えま 閉じる せん。	刺しゅう機が取り付けられていないときに、刺しゅうキーを押した

表示	原因
① 刺しゅう機が ついている時 には使えませ 聞いる ん。	刺しゅう機が取り付けられているときに、使用できない機能を使用しようと した
▲刺しゅうキャ リッジが動き ます。注意して ください。OK	刺しゅう機を取り付けた
① 下糸が少なく なりました。 下糸を巻いて 閉♡す ください。	下糸がなくなった 下糸が残り少なくなった
 ① 下糸巻き軸を 左に戻してく ださい。 閉じる 	下糸巻き軸を右にした状態で、返しぬいスイッチ・針上下スイッチ・糸切り スイッチのいずれかを押した
下糸巻き中	下糸巻き装置で下糸巻き動作中
 ① 設定条件を記 憶します。よろ しいですか? キャンセル OK 	実用模様の設定を変更して、 記憶を押したとき
① 電源を切って 刺しゅう機を 取り外してく 閉♡る ださい。	刺しゅう機が取り付けられているときに、実用/文字模様キーを押した
① 針が下の時に はこのスイッ チは使えませ 閉いる ん。	針が下がった状態で、刺しゅう模様の選択やレイアウトの変更をしようとし た
 ① 針上下スイッ チで針を上に 上げてくださ い。 	針が下がっているときに、ミシンが動く動作をしようとした
 ① 2本針設定を 解除して針を 交換してくだ Ftrotup さい,(M+M) 	2本針の設定をした状態で、2本針が使用できない模様を選択した
① フットコント ローラーをは ずしてくださ 閉じるい。	刺しゅうのときに、フットコントローラーを使用しようとした フットコントローラーが取り付けられた状態で、スタート/ストップスイッ チを押した
① 振幅コントロ ールをOFF にしてくださ 閉♡る い。	振幅コントロールがONの状態で、フットコントローラーを接続せずにス タート/ストップスイッチを押した 振幅コントロールが使用できない模様を選択した

困ったとき

表示	原因
① 模様が消えま すよろしいで すか? キャンセル OK	刺しゅう模様を選択した状態で、戻るキーまたは刺しゅうキーを押した
 ・縫製範囲から はみ出します。 回転しますか? ・キャンセル ・90° ・ ・ ・	刺しゅう枠からはみ出すまで文字を組み合わせようとした
① ボタン穴かが りレバーを上 げてください。 閉じる	ボタン穴かがりレバーが下がった状態で、ボタン穴かがり・かんどめ・ダー ニング以外の模様を選択してスタート/ストップスイッチまたは返しぬいス イッチを押した
① ボタン穴かが りレバーを下 げてください。 閉じる	ボタン穴かがりレバーが上がった状態で、ボタン穴かがり・かんどめ・ダー ニングを選択してスタート/ストップスイッチを押した
① 模様を選んで ください。 閉じる	模様を選択していない状態で、スタート/ストップスイッチまたは返しぬい スイッチを押した
① 模様が枠から はみだします。 閉じる	刺しゅう枠に入りきらない文字数を設定しようとした
 容量がたりません。模様を消してください。 モンセル (剤除) 	記憶エリアがいっぱいのときに、さらに記憶させようとした
① 12模様しか 扱えません.模 様を減らして 閉♡る ください。	リムーバブルディスクに13個以上の模様データが入っているときに、模様 を呼び出そうとした
 データ容量の 制限を越えま した。 閉じる 	マイイラスト機能で、点の数の制限を超える模様データを作成した
 編集模様を最 後まで入力し てください。 閉じる 	マイイラスト機能で、模様データを編集中にスタート/ストップスイッチを 押した

液晶画面に何も表示されないとき

電源を入れても液晶画面に何も表示されないときは、 液晶画面の明るさが明るすぎる、または暗すぎると きです。その場合は、次の操作をしてください。







操作パネルのいずれかのキーを押しなが ら、電源を入れます。



3 - ● を押して、画面の明るさを調整します。



4 もう一度電源を切って、電源を入れ直し ます。

電子音

キーを操作しているときや、誤った操作をしたとき などに、電子音が鳴ります。

正しい操作をしたとき 「ピッ」と鳴ります。

誤った操作をしたとき

「ピッピッ」または「ピッピッピッピッ」と鳴ります。

糸がからむなど、ミシンがロックしたとき

「ピッピッピッ・・・」と4秒間鳴り続け、ミシンは自動的に止まります。OKボタンを押すと、操作可能な状態に 戻ります。

必ず原因を確認して改善してから、再開してください。

■ 電子音を消したいとき

購入時は、操作パネルのキーを操作すると音が 鳴るように設定されています。この音を鳴らな いように変更できます。

1 電源を入れます。



▶ 液晶画面が点灯します。





▶ 設定画面が表示されます。







▶ 電子音が鳴らないように設定されます。





▶ もとの画面に戻ります。

アフターサービス

修理を依頼するときや部品を購入するときは、お買い上げの販売店または「お客様相談室(ミシン119番)」 にお問い合わせください。

■ 保証書について

ご購入の際、保証書にお買い上げ日、販売店名などが記入してあるかご確認の上、販売店で受け取ってください。保証書の内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。(保証書は外箱に付いています。)また無料修理保証期間は、お買い上げ日より3年間です。それ以後の修理については、お買い上げの販売店または下記の「お客様相談室(ミシン119番)」にお問い合わせください。

■ お客様相談室(ミシン119番)0120-340-233

本製品についての、使い方やアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または 「お客様相談室(ミシン119番)」までお問い合わせください。

〒467-8577 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1
お客様相談室(ミシン119番)
TEL:0120-340-233
FAX:052-824-3031
受付時間:月曜日~金曜日 9:00~17:30
休業日 :土曜日、日曜日、祝日およびブラザー販売株式会社の休日



- ブラザー製品についてのご意見、ご要望は、お買い上げの販売店または上記「お客様相談室(ミシン119番)」 にご連絡ください。
- 上記の電話番号、住所および受付時間は、都合により変更する場合がありますので、ご了承ください。

アップグレードの方法

パソコンを使用して、ミシンにインストールされているソフトウェアをアップグレードすることができます。アップグレード情報については、お近くの販売店または「お客様相談室(ミシン119番)」 (フリーダイヤル0120-340-233)にお問い合わせいただくか、ブラザー工業のホームページ (http://www.brother.co.jp)で今後掲載される情報を参照してください。



本体仕様

	項目	仕様	
	本体寸法	幅435mm×高さ292mm×奥行201mm	
	本体質量	8.8kg	
	液晶画面	バックライト拡散式タッチパネル	
	使用ミシン針	家庭用ミシン針HA×1	
	ランプ	白色発光ダイオード	
	ぬい速度	毎分70~850針	
	搭載模様	実用: 71飾り: 31サテンステッチ: 18クロスステッチ: 15飾りサテン: 10実用飾り模様: 39アルファベット: 97×3書体ひらがな: 75カタカナ: 76数字: 10記号: 28漢字: 15	
	最大振り幅	7.0mm	
	最大送り幅	5.0mm	
	刺しゅう範囲	180mm×130mm	
	刺しゅう速度	每分最大650針	
刺しめ	最少ピッチ	0.1mm	
ゆう	搭載模様	ワンポイント模様 : 136 枠模様 : 10種、12ステッチ 英数 : 3書体 かな・カナ : 3書体	

さくいん

記号

2本針	. 14, 41
Р	
PL	1
Q	
Q&A	188
U	
USB ケーブル	17, 183
	10, 100

ア

アーム
アイレット118
あき止まり
アップグレード198
アップリケ105, 172
アップリケ押え
厚地をぬう71
アドバイス
アフターサービス 197
アルファベット
安全にお使いいただくために1

イ

位置	
糸案内カバー	18, 33, 38
糸案内皿	19, 39
糸案内板	18, 33, 39
糸色	
糸色名	
糸切り	18, 62, 67
糸切りスイッチ	20, 62
糸こま押え	12, 31, 38
糸こまネット	12, 32
糸たて棒	18, 31, 38
糸調子	65, 176
糸通し装置	
糸通しレバー	
糸をまちがえてぬったとき	
色替	

ウ

ウィングニードル	
ウォーキングフット	13, 109
受け座	
薄地をぬう	72
ウルトラポス	16, 163
上糸	
上ふた	18, 31, 38

Ι

液晶画面	.21, 2	26,	163,	195
液晶画面の操作			. 26,	163
エクストラテーブル			16	, 51
エラーメッセージ				192

オ

オープニング画面	27
大きなもの	51
お客様相談室	
送り歯	
押え	
押え圧ダイヤル	19, 71
押え固定ピン	13, 71
押えの交換	
押えホルダー	49, 50
お手入れ	
オリジナル模様を作る	140

力

カーブをぬう	70
回転キー	
ガイド付まつりぬい押え	16, 73
ガイドミゾ	
返しぬい	60, 66
返しぬいスイッチ	20, 61
確認	
飾りサテン	76, 132
飾りぬい	
飾り模様	76
片押え	13, 97
片返し	98, 102
カタカナ79,	162, 166
カッター	34, 36
角をぬう	70
かな	79, 164
かま	36, 186

面面調整	27
一回時空	105
回回の明るで	190
皮をぬう	72
換気口	19
漢字カード	169
かんどめ	114
カントリー糸16,	163

+

記憶	68,	136,	180
記憶キー			21
基線			86
ギャザー			123
キャリッジ			154
曲線をぬう			70
キルター		13,	110
キルティング			109
キルト押え		13,	110

ク

組み合わせ	130
くり返し	131
クレイジーキルト	107
クロスステッチ	76

ケ

ケース 1	2
-------	---

ゴムテープ付け	104
コンセント	25

サ

サイズキー	
サイドカッター押え	
サテンステッチ	
サテンぬい	
左右反転	
三重ぬい	
サンフェロン	

シ

シェルタック 1 時間	24 63
ジグザグ押え	
13, 82, 85, 96, 103, 105, 113, 1	22
ジグザグの振り幅	64
刺しゅう 1	46
刺しゅう糸1	46
刺しゅう押え17,1	49
刺しゅうカード17,1	68

刺しゅうカード差し込み口	19,	169
刺しゅう機		152
刺しゅうキー		21
刺しゅう機差し込み口	18,	153
刺しゅうシート	17,	158
刺しゅうの記憶		180
刺しゅう範囲		175
刺しゅう模様		162
刺しゅう用水溶性シート	16,	146
刺しゅう用接着芯	16,	146
刺しゅう枠	17,	157
刺しゅうを中断するとき		177
下糸		31
下糸巻き案内	18	8, 33
下糸巻き軸		35
下糸を引き出す		44
しつけぬい		85
実用/文字模様キー		21
実用飾り模様		76
実用模様		76
自動糸切り		67
自動返しぬい		66
自動止めぬい		66
抽めい		05
		85
次ページキー		85 21

ス

水溶性シート
スカラップ
すそ上げ
スタート
スタート/ストップスイッチ
ステッチガイド押え 13, 72
ステップ模様134
ストッパー
スピードコントロールレバー20, 34, 58, 112
スムースフット (テフロン押え) 13,72
スモッキング123

セ

接着芯	16,	146
設定キー		21
設定の確認・変更		27
前ページキー		21
前面		18

ソ

操作音	195
操作スイッチ	20

付録・

操作パネル	21
操作早見表	14
掃除	186
速度	58
側面	19
そで付け	113

タ

ダーニング	
たち目かがり	
たち目かがり押え	13, 81
試しぬい	70

チ

調節付き片押え	13, 101
直線ぬい	85
著作権	162

ッ

使い方 使い方キー	
つき合わせ	96, 101, 125
つくろいぬい	
筒もの	51

テ

手で針に糸を通す 4	+1
電源	24
電源コード19,2	25
電源コンセント2	25
電源スイッチ19,2	25
電子音	15
てんびん確認窓3	9

ト

た戸	11
付文	
途中で糸がなくなったとき	
止めぬい	60, 66
留めネジ	
ドライバー	12, 47
トラブル	
取扱説明書	
取扱説明 DVD	
取り外しレバー	
ドロップレバー	19, 94, 111
ドロンワーク	

ナ	
長さ	
=	

ニーリフター14,73 ニーリフター差し込み口18,73

ヌ

ぬい糸	14
ぬい方	
ぬいしろの始末	
ぬいしろの幅をそろえる	72
ぬい目の長さ	65
布地のセット	57
布地ブロード	14

ノ

伸びる布地	72,	103
-------	-----	-----

Л

15	70
	/ ے
バイヒンク	
背面	
はさみ	
パッチワーク	
はとめ穴	
はとめ穴パンチ	12, 92, 118
幅	
針板	
針板カバー	19, 35, 186
針板ドライバー	
針板ふた	
針位置	
張りが強い糸	
針上下スイッチ	
針数	163, 177
針停止位置	
針の交換	
針の種類	
針棒糸かけ	
反転	
ハンドル	

Ł

ピーシング			107
ピーシング押え		13,	108
ビニールをぬう			72
表示言語			27
ひらがな	79,	162,	166

フ

プーリー	. 19, 37, 57, 95
ファゴティング	
ファスナー付け	
付属品バック	
付属品	
付属品トレイ	
フットコントローラー	
フットコントローラージャック	
ブラザー刺しゅう糸	
ブラザーワンポイント模様	
フリーアーム	51
フリーモーションキルト	
振り幅	
振幅コントロール	
プログラム糸切り	
プロダクト No	

$\boldsymbol{\wedge}$

ヘアルーム	126
別売刺しゅう機セット	. 17

木

方向を変える
ポケットロ113
補助糸たて棒 14,42
保証書 15, 197
ボタン穴かがり
ボタン穴かがり押え13, 90, 114, 116
ボタン穴かがりレバー 19, 92, 115, 117
ボタン付け
ボタン付け押え 13, 94
ほつれ止め
ボビン
ボビン受け座

マ

マイイラストシート	14, 140
マイイラスト模様	76, 140
まつりぬい	
まつりぬい押え	13, 87

Ξ

ミシン119番	
ミシンの使い方	
ミシン針	
ミシンブラシ	
密度	

X

名称	18
メッセージ	192

Ð

文字刺しゅう	164
戻るキー	21
模様ぬい押え 13, 118, 119	, 129
模様の位置	174
模様の大きさ	132
模様の確認	131
模様の記憶136	, 180
模様の組み合わせ	. 130
模様のくり返し	131
模様の種類	, 162
模様の選択	, 162
模様の調整	. 137
模様の長さ	133
模様の幅	64
模様の反転134	. 175
模様の密度	132
模様の呼び出し	136

Ξ

横送り 呼び出し	
ラ	
ランプ	
IJ	
リッパー	

u

レイアウトの調節 174

ヮ

ワイドテーブル	14,	53
枠模様	1	67
ワンポイント模様	1	67

アフターサービス

- ●ご購入の際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。
- ●無料修理保証期間は、お買い上げ日より3年間です。詳しくは保証書をご覧ください。 それ以後の修理については、お買い上げの販売店または下記の「お客様相談室(ミシン 119番)」にご相談ください。
- ●当社はこのミシンの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ●アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または下記の「お客様 相談室(ミシン119番)」へお問い合わせください。

お客様相談室(ミシン119番)0120-340-233

本製品についての、使い方やアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの 販売店または「お客様相談室(ミシン119番)」までお問い合わせください。

〒467-8577 愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1 お客様相談室(ミシン119番) TEL:0120-340-233 FAX:052-824-3031 受付時間:月曜日~金曜日 9:00~17:30 休業日 :土曜日、日曜日、祝日およびブラザー販売株式会社の休日

●お客様相談室は、ブラザー販売株式会社が運営しています。

●機能および操作方法が機種によって異なるため、お問い合わせの際に「機種名」と「機械 番号」をご連絡いただきますと、スムーズにお答えすることができます。 ミシン背面の定格ハリマーク(銀色シール)の下記部分をご確認ください。



●ブラザー製品についてのご意見、ご要望は、お買い上げの販売店または上記「お客様 相談室(ミシン119番)」にご連絡ください。

●上記の電話番号、住所および受付時間は、都合により変更する場合がありますので、 ご了承ください。

ホームページ

- ●ブラザーのホームページでは、家庭用ミシンに関する様々な情報を掲載しております。 http://www.brother.co.jp/
- ●ブラザーソリューションセンターでは、家庭用ミシンに関するサポート情報を掲載しており ます。

http://solutions.brother.co.jp/sewing_support/index.html

ブラザー工業株式会社

取扱店

愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1 〒467-8561